

6章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは？ 134
- 2 Microsoft Outlook の使いかた 136
- 3 ペットにメールを運んでもらう 176
- 4 知っておきたいマナー 179
- 5 新着メールをモードパネルで確認する 182

1

電子メールとは？

1 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

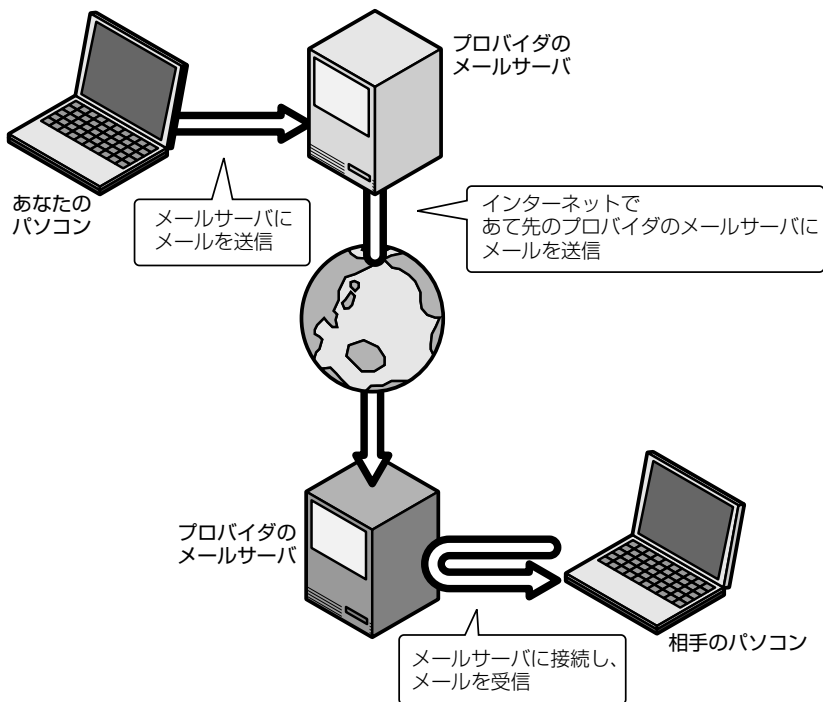
「Eメール（Electronic Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

2 メールのおしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。メールサーバとは、メールの配信サービスを提供するコンピュータです。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



- **メールサーバ** ● メール配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOP3サーバの2種類がある。



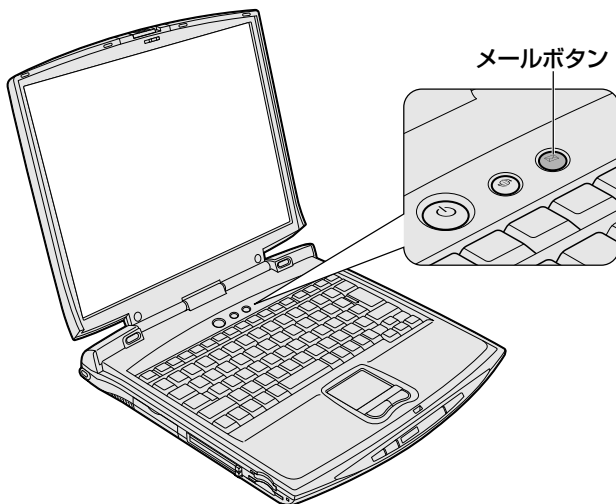
2

Microsoft Outlook の使いかた

本製品にはメールソフト「Microsoft Outlook」がプレインストールされています。プロバイダによっては、Microsoft Outlook をご使用できない場合があります。契約するプロバイダが対応しているかどうか、ご確認ください。ご使用になる前にプロバイダへの入会やメールの設定などを完了させてください。詳細についてはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

1 メールボタンでワンタッチスタート！

1 メールボタン（）を押す



Microsoft Outlook が起動します。
パソコン本体の電源が入っていないときは、電源が入り Windows が起動した後に Microsoft Outlook が起動します。スタンバイ状態を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、Microsoft Outlook が起動します。

メールボタンを押したときに起動するブラウザ（アプリケーション）を変更することができます。



メールボタンの設定方法 ⇨ 「7章 3-4 東芝コントロールで設定する」

■ 初めて起動するとき

- Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook のいずれかを初めて起動したときは、[ユーザー名の指定] 画面と [Office XP 使用許諾契約書] 画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。
- Microsoft Outlook を起動すると、最初に [Outlook 2002 スタートアップ] 画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ 再セットアップしたとき

- 再セットアップでは、「Microsoft Office」* は復元されません。Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書をご覧のうえ、復元してください。
- 再セットアップ後、「Microsoft Office」* を復元する前にメールボタンを押すと、Outlook Express が起動します。復元すると、Microsoft Outlook が起動します。

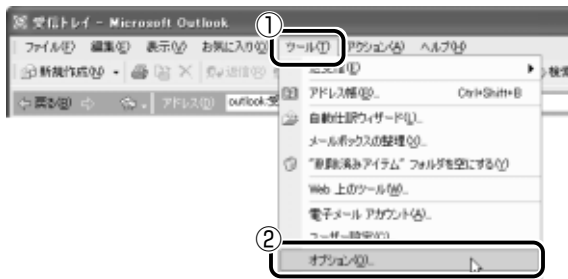
*Microsoft® Office XP Personal

参照  再セットアップについて ⇨ 『困ったときは 3章 再セットアップ』

2 オプションの設定

Microsoft Outlook をより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②




[オプション] 画面が開きます。

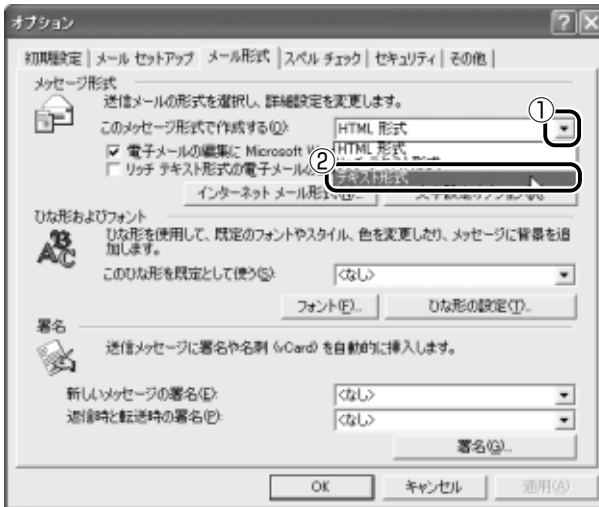
2 各タブで設定を行う

オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Microsoft Outlook をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。

■ オプション 1 メール形式を選択する場合

[メール形式] タブの [メッセージの形式] で  ボタンをクリックし
①、[テキスト形式] をクリックする②

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



- **テキスト形式** ● メール本文が文字だけで記述されていること。
- **HTML 形式** ● メール本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。
- **文字化け** ● 文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

■ オプション2 メール編集形式を選択する場合

[メール形式] タブの [メッセージの形式] で [電子メールの編集に Microsoft Word を使用する] のチェックをはずす

Microsoft Word で編集した場合、相手のメールソフトが Microsoft Word での編集形式に対応していないと、編集したとおりの見目で表示されない場合があります。通常はどのメールソフトでも同じように読めるように、Microsoft Outlook 上でメールを編集するほうが良いでしょう。

メールの形式をテキスト形式に設定している場合、Microsoft Word で編集したメールもテキスト形式で送信されます。

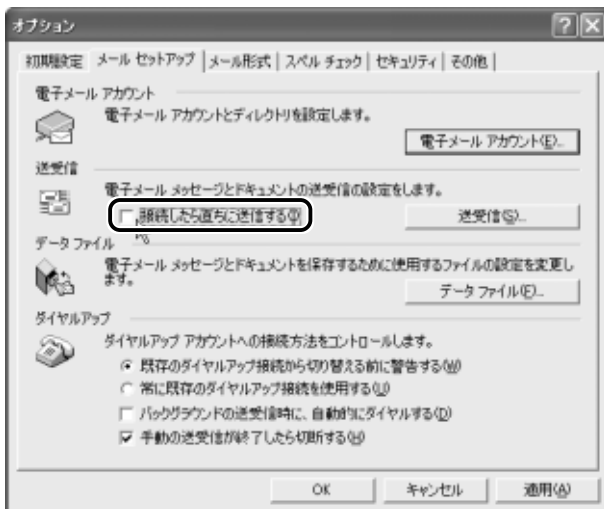


■ オプション3 数通のメールをまとめて送りたい場合

[メールセットアップ] タブの [メッセージの送受信] で [接続したら直ちに送信する] のチェックをはずす

メールの送信をまとめて行う設定になります。

メールを1通書くたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



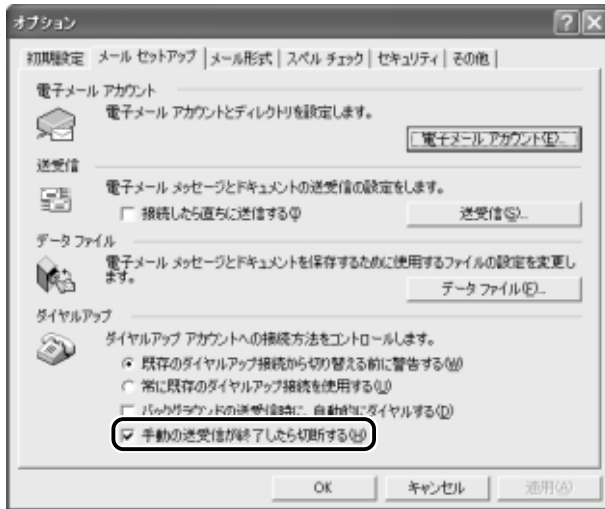
■ オプション4 インターネットへの接続を終了する場合

[メールセットアップ] タブで [手動の送受信が終了したら切断する] がチェックされていることを確認する

送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。

接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておくと便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、このチェックをはずしてください。また、見終わったときに手動で必ず接続を切ってください。



3 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的なオプションの設定は完了です。

3 Microsoft Outlook画面

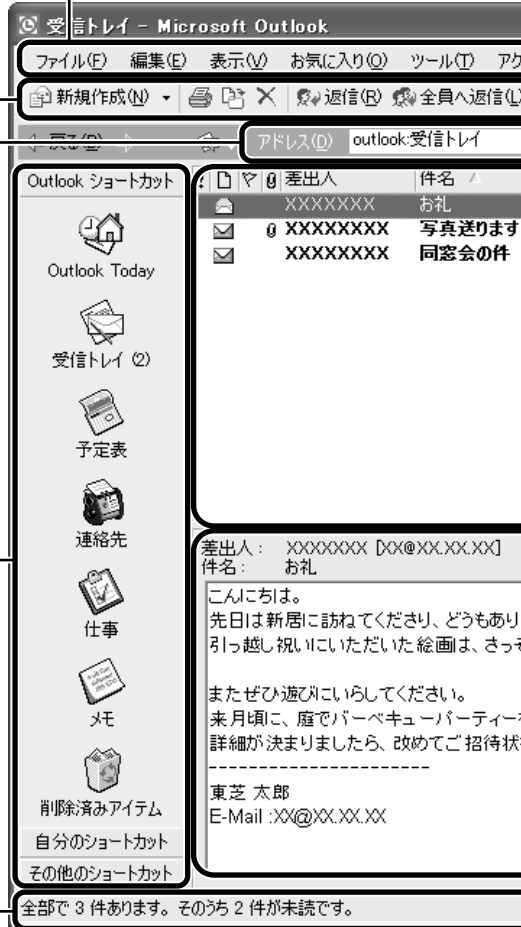
メニューバー
いろいろな操作が種類別にまとめられています。
それぞれのボタンをクリックするとメニューが表示され、さらに細かい操作を選んでいきます。

ツールバー
よく使う機能がボタンでまとめられています。
表示されるボタンは選択されているフォルダによって異なります。

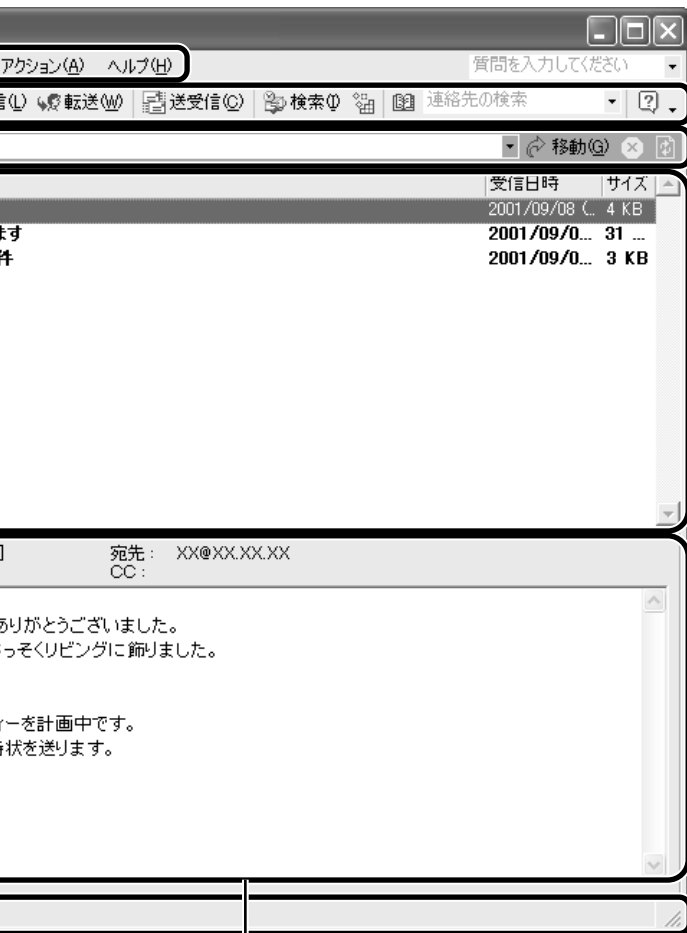
アドレスバー
現在開いているフォルダを示します。
また、アドレスを入力すると、インターネットに接続し、ホームページを表示することができます。

Outlookバー
Microsoft Outlookの各フォルダのショートカットアイコンが並べられています。

ステータスバー
Microsoft Outlookの状態を表示します。



メールの情報が表示されます。
メールの差出人、用件、受け取った時間など















選択したメールの内容が表示されます。
(プレビューウィンドウ)

6章


電子メールを使う

ツールバーのボタンについて

ツールバーには、よく使う機能がボタンでまとめられています。表示されるボタンは選択されているフォルダによって異なります。よく使われるボタンの働きを説明します。

 新規作成(N) ▾	新しいメールを作成します。 ☞ 「本節 4 メールを作成する」
	メールの内容を印刷します。
	フォルダを移動します。
	メールを削除します。 ☞ 「本節 7 メールを削除する」
 返信(R)	メールを送ってきた相手にメールを返信します。 ☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
 全員へ返信(L)	送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。 ☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
 転送(W)	受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。 ☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
 送受信(C)	インターネットに接続し、メールの送受信を行います。 ☞ 「本節 5 メールを送信する／受信する」
 検索(Q)	メールを検索します。 ☞ 「本節 10 メールを検索する」
	メールを整理します。 ☞ 「本節 8 メールを整理する」
	アドレス帳を開きます。 ☞ 「本節 9 アドレス帳を使う」
	Microsoft Outlookのヘルプを起動します。 ☞ 「本節 14 ヘルプの起動方法」



- 使用頻度の少ないボタンは、ツールバー上から隠れている場合があります。[ツールバーオプション] ボタン () をクリックし、表示されたメニューから隠れているボタンをクリックすると、機能が実行され、ツールバー上にボタンが表示されます。

Outlook バーのアイコンについて






Outlook バーには、Microsoft Outlook のフォルダのショートカットアイコンが、グループごとに配置されています。アイコンをクリックすると、フォルダを開くことができます。

Outlook バーは、グループごとに表示されます。それぞれのグループ名をクリックすると切り替わります。


- [Outlook ショートカット] グループ (Outlook ショートカット)

	Outlook Today
	受信トレイ
	予定表
	連絡先
	仕事
	メモ
	削除済みアイテム

- [自分のショートカット] グループ (自分のショートカット)

	下書き
	送信トレイ
	送信済みアイテム
	履歴
	Outlook Update

- [その他のショートカット] グループ (その他のショートカット)

	マイ コンピュータ
	マイ ドキュメント
	お気に入り

Microsoft Outlook をはじめて起動したときに表示される [Outlook 2002 スタートアップ] 画面でメールアカウントの設定をしなかった場合、Outlook バーの標準の表示状態が異なります。本書では、[Outlook 2002 スタートアップ] 画面でメールアカウントの設定をしたことを前提に、この表示状態で説明しています。

■ ショートカットアイコンの追加方法

ショートカットアイコンは次の手順で追加できます。

- ① ショートカットを追加したいグループ名を選択する
- ② Outlook バー上の何も無いところで右クリックし、表示されたメニューから [Outlook バーのショートカット] をクリックする
[Outlook バーに追加] 画面が表示されます。
- ③ ショートカットを追加したいフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックする
Outlook バーの選択したグループにショートカットアイコンが表示されます。

4 メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。

メールの作成が終わった後でインターネットへ接続しましょう。

- メモ** ● インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。

1 ツールバーの【新規作成】ボタン (新規作成(N)) をクリックする

[無題—メッセージの作成] 画面が表示されます。

2 【宛先】(送信先) ①と、【件名】(タイトル) ②を入力する



- メモ** ● メールアドレスは半角で入力してください。
● メールを複数の相手に送る場合は、「;」(セミコロン)で区切ってメールアドレスを入力します。
● 宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、[CC]にメールアドレスを入力します。
● 件名に半角カタカナを使用しないでください。

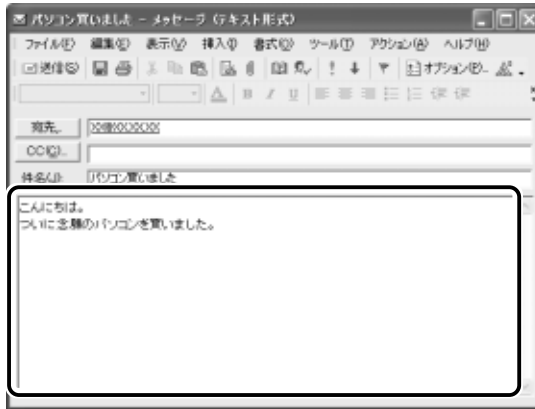
3 メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。

メールを書く場合のエチケットなどを「本章 4 知っておきたいマナー」で紹介しています。

そちらを参考にしながら、本文を入力しましょう。





4 ツールバーの [送信] ボタン () をクリックする

- メモ** ●宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください。

このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。



メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 4 を繰り返し行なってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 参照  メールを送信する ⇨ 「本節 5 メールを送信する/受信する」

メールを書くのを一時的にやめる

メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

- 1 ツールバーの[上書き保存] ボタン () をクリックする
- 2 メールを作成している画面の[閉じる] ボタン () をクリックする
作成したメールは [下書き] フォルダに保存されます。

メールの続きを作成する

- 1 [自分のショートカット] の [下書き] をクリックし①、一覧から目的のメールをダブルクリックする②



作成中のメール画面が開きます。

- 2 メールの続きを入力する


5 メールを送信する／受信する

送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。
送信する場合、[送信トレイ] に保存されているメールが送信されます。受信した場合、メールは [受信トレイ] に保存されます。
送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

1 ツールバーの [送受信] ボタン () をクリックする

[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。

2 必要な内容を入力し、[ダイヤル] ボタンをクリックする

 詳細について ⇨ 『まずはこれからインターネットに接続しよう』



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。
[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。
その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。
メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

1 [Outlook ショートカット] の [受信トレイ] をクリックし

①、一覧から見たいメールをダブルクリックする②




[受信トレイ] のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

[送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。

-  以前開いたメール (開封済み)
-  読んでいないメール (未開封)
-  ファイルが添付されている

メールが開きます。



- メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- プレビューウィンドウを表示すると、メールを開かずに内容を読むことができます。
- ファイルが添付されているメールには、[件名] の下に [添付] が追加され、添付ファイルの名称が表示されます。



添付ファイルの開きかたについて

☞ 「本節 12 メールに添付されたファイルを開く」

6 メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。


どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

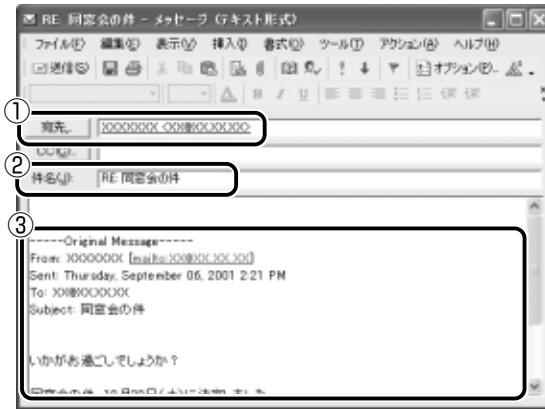
返信する



- 1 [Outlook ショートカット] の [受信トレイ] をクリックし
①、一覧から返信したいメールをクリックする②



- メモ** ●メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックし、目的のメールをクリックしてください。

- 2 ツールバーの [返信] ボタン () をクリックする
メールの作成画面が表示されます。
[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます①。
[件名] には元のタイトルに「RE:」がついて表示されます②。
「RE:」は「Response: 返答、返事」の略です。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています③。



-  ● [全員へ返信] ボタン () をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。

3 メール本文を入力する

このあとの操作は「本節 4 メールを作成する」の手順 3 以降と同じです。


転送する

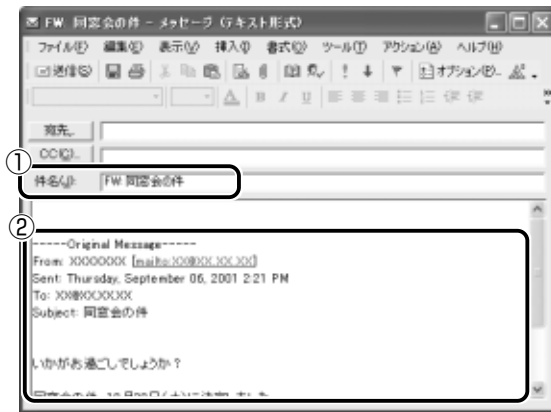
- 1 [Outlook ショートカット] の [受信トレイ] をクリックし
①、一覧から転送したいメールをクリックする②



右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ● メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックし、目的のメールをクリックしてください。


- 2 ツールバーの [転送] ボタン () をクリックする
メールの作成画面が表示されます。
[件名] には元のタイトルに「FW:」がついて表示されます①。
「FW:」は「Forward: 転送する」の略です。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています②。




- 3 [宛先] を入力する
- 4 メール本文を入力する

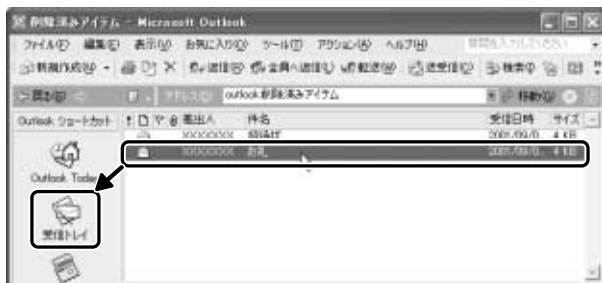
7 メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

- 1 Outlook バーで削除したいメールが保存されているフォルダをクリックする
一覧が表示されます。
- 2 一覧から削除したいメールをクリックする
- 3 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする
選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[削除済みアイテム] に移動しています。

 ● 送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは [削除済みアイテム] に移動します。

- 4 [Outlook ショートカット] の [削除済みアイテム] をクリックする
削除したメールの一覧が表示されます。
間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

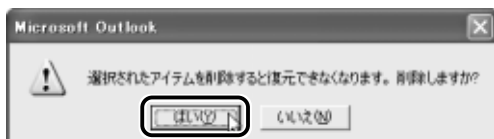


5 一覧から完全に削除したいメールをクリックし、[削除] ボタン (X) をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

ここで削除したメールはもう見ることはできません。削除する前によく確認してください。

6 [はい] ボタンをクリックする



選択したメールが完全に削除されます。



- [削除済みアイテム] にあるすべてのメールを削除したい場合は、手順5で [Outlook ショートカット] の [削除済みアイテム] を右クリックし、[“削除済みアイテム” フォルダを空にする] をクリックしてください。

8 メールを整理する


メールの数が増えてきた場合は、メールを整理しておくことで管理しやすくなります。

Microsoft Outlookには、メールを整理するためのいろいろな機能が用意されています。

ここでは、[受信トレイ]の他に新たにフォルダを作り、受信したメールの内容や相手によって分類する方法を説明します。

- メモ** ● 標準設定では、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

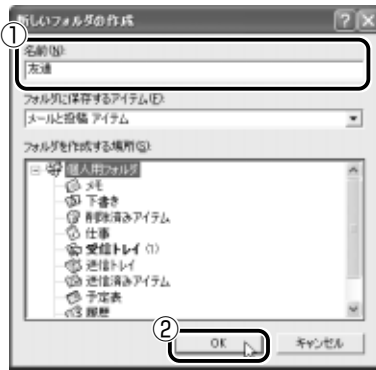
フォルダを作成する

- 1 [受信トレイ] で、ツールバーの [整理] ボタン () をクリックする
[整理：受信トレイ] 画面が表示されます。
- 2 [フォルダを使う] の [新しいフォルダ] ボタンをクリックする



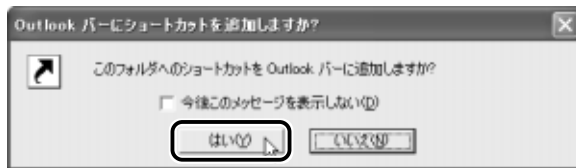
[新しいフォルダの作成] 画面が表示されます。

- 3 [名前] にフォルダ名を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②
ここでは「友達」と入力します。



[Outlook バーにショートカットを追加しますか?] 画面が表示されます。


- 4 [はい] ボタンをクリックする



Outlook バーの [自分のショートカット] が数回点滅します。
[自分のショートカット] をクリックし、[友達] フォルダの
ショートカットアイコンが追加されているか確認してください。

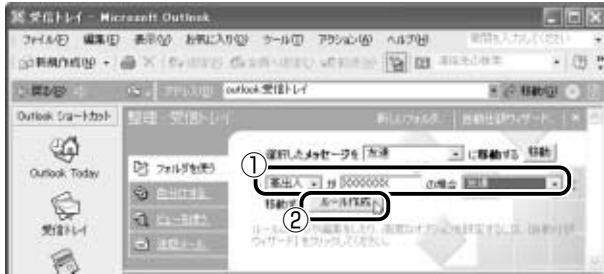
メールを分類する

作成されたフォルダに移動したいメールをドラッグアンドドロップすると、選択したメールが新しいフォルダに移動します。
また、仕訳ルールを指定し、メールを受信したときに自動でメールを仕分けるように設定することもできます。

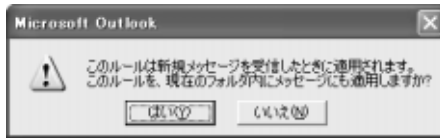
- 1 [受信トレイ] で、仕訳ルールを設定したいメールをクリックする
- 2 ツールバーの [整理] ボタン () をクリックする

3 仕訳ルールを設定し①、[ルール作成] ボタンをクリックする②

[差出人] または [宛先] を選択すると、該当する名前が自動的に表示されます。分類先のフォルダの名前を選択してください。



4 表示されるメッセージ画面で、[はい] または [いいえ] ボタンをクリックする



[はい] ボタンをクリックすると、現在表示しているフォルダに保存されているメールが、仕訳ルールに従って仕訳されます。

[いいえ] ボタンをクリックすると、現在保存されているメールには仕訳ルールを適用しません。

以上で、仕訳ルールが作成されました。

次回、仕訳ルールの条件に当てはまるメールを受信すると、自動的に指定したフォルダに移動されます。

仕訳ルールは [自動仕訳ウィザード] に登録されます。仕訳ルールの設定変更や、より詳しい条件を設定したい場合は、[自動仕訳ウィザード] で設定してください。

詳しくは、『Microsoft Outlook のヘルプ』をご覧ください。

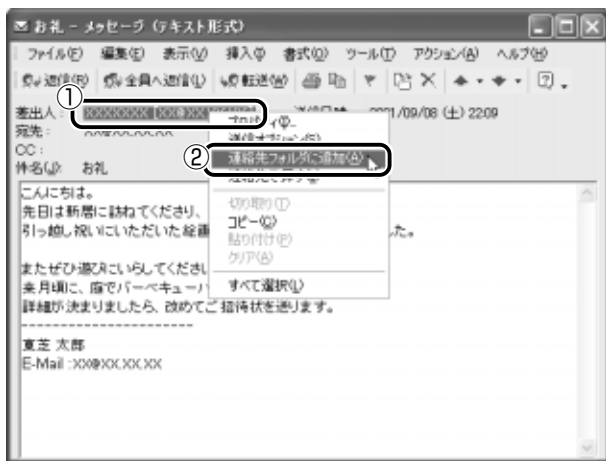
9 アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておく便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Microsoft Outlook のヘルプ』をご覧ください。

メールをくれた相手のアドレスを登録する

- 1 一覧から登録したいアドレスのメールをダブルクリックする
- 2 登録したいアドレスを右クリックし①、表示されたメニューから「連絡先フォルダに追加」をクリックする②



「XXXXXXXX (名前) - 連絡先」画面が表示されます。画面タイトルバーの名前は、自動的に認識されたものが表示されます。ここでは、「東芝太郎 - 連絡先」画面を例とします。

3 [全般] タブで、自動的に入力された内容を確認し、必要に応じて変更を行う



自動的に次の内容が入力されています。

- フリガナ

変更したい場合は、[フリガナ] ボタンをクリックし、表示される [フリガナの編集] 画面で変更します。

- 姓

- 名

- 表題

[連絡先] 画面で表示される [姓] と [名] の組み合わせかたについて設定します。

- 電子メール

半角英数字で入力してください。


- 表示名

入力された文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この [表示名] に追加することをおすすめします。


[全般] タブでは、上記の他に会社名、住所、電話番号などが登録できます。また、[詳細] タブではより詳しい個人情報を登録することもできます。詳しくは、『Microsoft Outlook のヘルプ』をご覧ください。

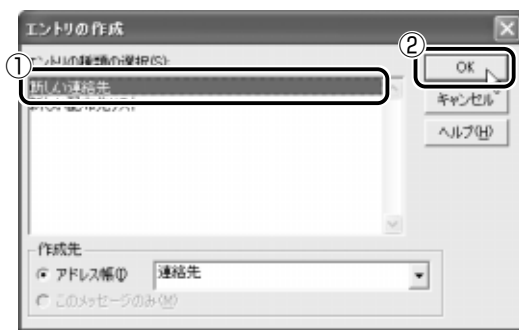
4 [保存して閉じる] ボタン () をクリックする

新しいアドレスを登録する


- 1 ツールバーの [アドレス帳] ボタン () をクリックする
[アドレス帳] 画面が表示されます。




- 2 ツールバーの [エンTRIESの作成] ボタン () をクリックする
[ENTRIESの作成画面] が表示されます。
- 3 [新しい連絡先] を選択し①、[OK] ボタンをクリックする②

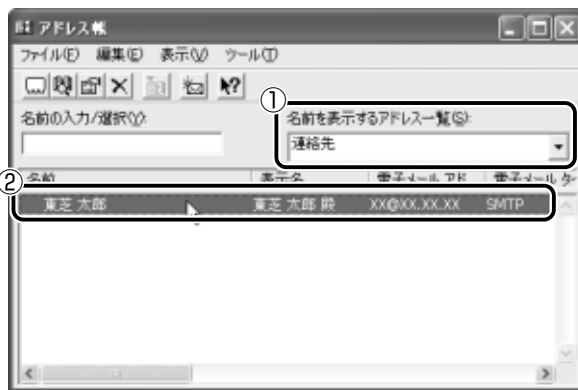


[無題 - 連絡先] 画面が表示されます。


- 4 [全般] タブで [フリガナ] [姓] [名] [表題] [電子メール] [表示名] を入力する
詳しくは、「本項 - メールをくれた相手のアドレスを登録する」の手順3をご覧ください。
- 5 [保存して閉じる] ボタン () をクリックする

アドレス帳を修正する


- 1 ツールバーの [アドレス帳] ボタン () をクリックする
[アドレス帳] 画面が表示されます。
- 2 [名前を表示するアドレス一覧] で修正したい名前を登録しているアドレス帳を選択し①、修正したい名前をダブルクリックする②



「東芝太郎 - 連絡先」画面が表示されます。


- 3 内容を変更する
詳しくは、「本項 - メールをくれた相手のアドレスを登録する」の手順3をご覧ください。
- 4 [保存して閉じる] ボタン () をクリックする

アドレス帳を使って宛先を入力する

- 1 ツールバーの「新規作成」ボタン（ 新規作成(N)）をクリックする
[無題 - メッセージ] 画面が表示されます。
- 2 「宛先」ボタンをクリックする
[名前の選択] 画面が表示されます。
- 3 「名前を表示するアドレス一覧」で送信したい相手の名前を登録しているアドレス帳を選択する
- 4 相手の名前をクリックし①、「宛先」ボタンをクリックする②



[メッセージ受信者] に選択した名前が表示されます。
同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。

-  ● 「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[CC] または [BCC] ボタンをクリックします。「CC」は Carbon Copy の略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」は Blind Carbon Copy の略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかりますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわかりません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

5 [OK] ボタンをクリックする

[無題 - メッセージ] 画面に戻ります。


メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。

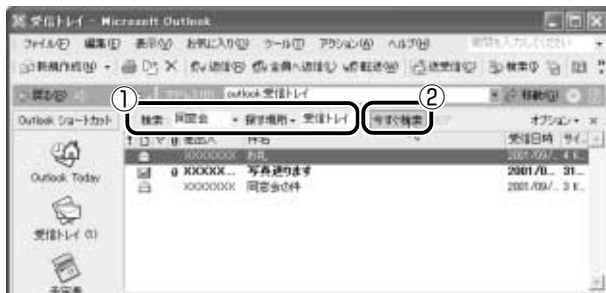


6 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

10 メールを検索する


受信したメールや送信したメールなどを検索できます。

- 1 ツールバーの [検索] ボタン () をクリックする
検索バーが表示されます。
- 2 検索条件を入力し①、[今すぐ検索] ボタンをクリックする②



検索結果が表示されます。

検索結果として表示されたメールをダブルクリックすると、メッセージが開きます。

- 3 検索が終わったら、検索バーの [閉じる] ボタン () をクリックする
検索バーが閉じます。

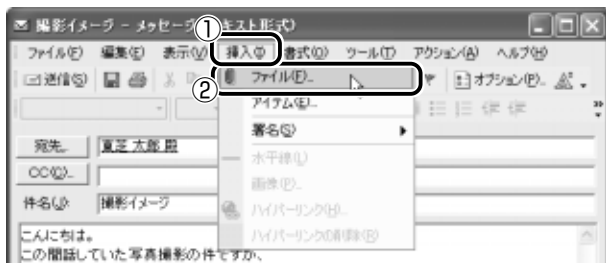
より詳しい検索条件で検索したい場合は、検索バーで [オプション] → [高度な検索] をクリックし、表示される [高度な検索] 画面で検索することができます。

詳しくは『Microsoft Outlook のヘルプ』をご覧ください。

11 メールにファイルを添付する

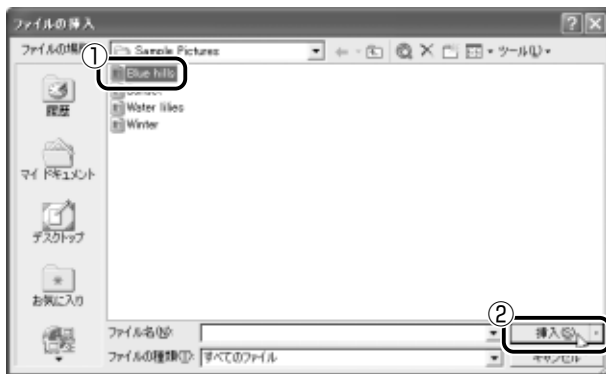
画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

- 1 メールを作成する
- 2 メニューバーの [挿入] をクリックし①、表示されたメニューから [ファイル] をクリックする②

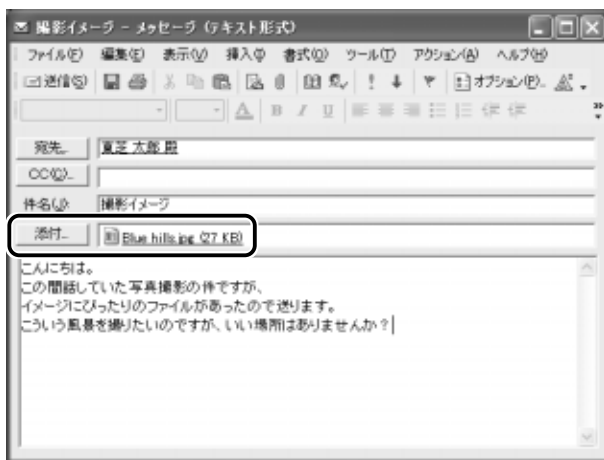


- 3 添付したいファイルを選択し①、[添付] ボタンをクリックする②

ここでは [マイ ピクチャ] の [Sample Pictures] に保存されている「Blue hills」というファイルを選択します。



[メッセージの作成] 画面に戻ります。
[件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返して行ってください。

- メモ** ● 受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。

4 メールを送信する

12 メールに添付されたファイルを開く

■ ファイルを開くときの注意

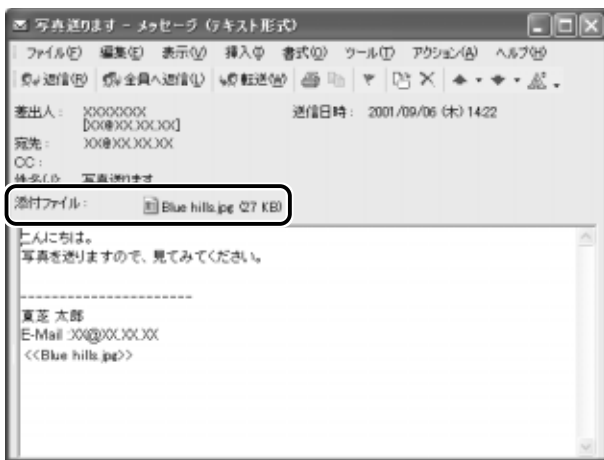
コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

■ ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

1 メールを開く

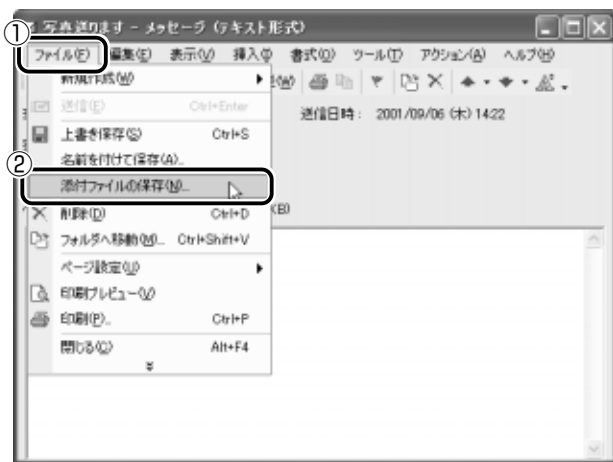
受信メールを開いたとき、[件名] の下に [添付] が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では [送信者] の横に [添付ファイル] アイコン (📎) が表示されています。



ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。


ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。

- 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする②



【添付ファイルの保存】画面を表示します。

- 3 保存先を選択し、【保存】ボタンをクリックする
ファイルが保存されました。
安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。

 ウイルスチェックソフト

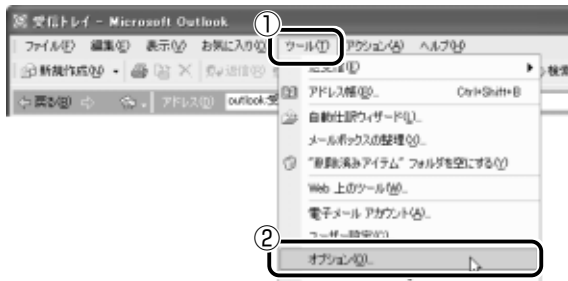
⇒ 『こんなことができる 5章 1 ウイルスチェックをする』

- 4 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする
ファイルが開きます。

13 署名を入れる

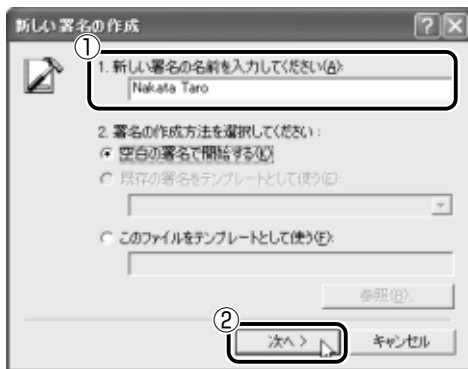
メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておくくと便利です。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



[オプション] 画面が表示されます。

- 2 [メール形式] タブで [署名] ボタンをクリックする
- 3 [署名の作成] 画面で [新規作成] ボタンをクリックする
[新しい署名の作成] 画面が表示されます。
- 4 [1. 新しい署名の名前を入力してください] に名前を入力し
①、[次へ] ボタンをクリックする②



- 5 [署名の編集] 画面で差出人情報として入れたい内容を入力し①、[完了] ボタンをクリックする②

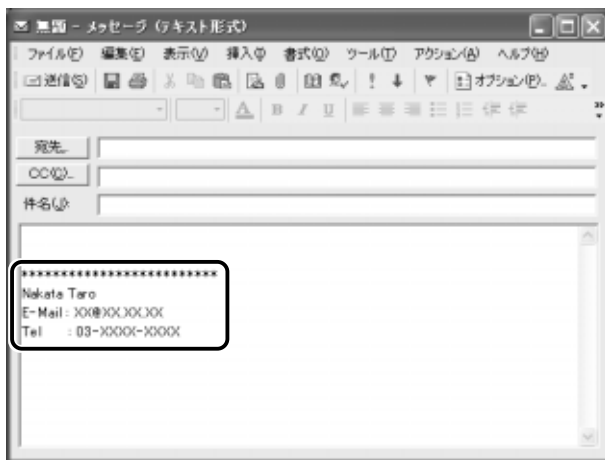


- 6 [署名の作成] 画面で作成した署名を確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



7 ツールバーの「新規作成」ボタン (新規作成(N)) をクリックする


メール作成画面に署名が挿入されています。



14 ヘルプの起動方法

Microsoft Outlook の操作や機能などを詳しく知りたいときは、『Microsoft Outlook のヘルプ』をご覧ください。

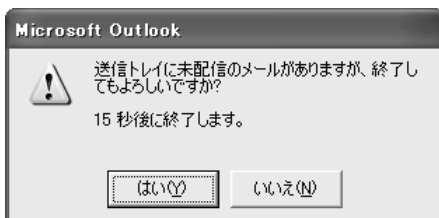
1 ツールバーの「ヘルプ」ボタン () をクリックする

-  ● メニューバーから [ヘルプ] → [Microsoft Outlook ヘルプ] をクリックしてもヘルプを起動できます。

15 終了する

1 Microsoft Outlook 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

送信トレイに送信していないメールがある場合、確認するメッセージが表示されます。



このまま終了する場合は、[はい] ボタン、終了を取り消す場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。メッセージが表示されてから [はい] または [いいえ] ボタンをクリックせずに 15 秒経つと、自動的に終了します。終了しても、[送信トレイ] にあるメールは送信されないまま残ります。画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。

3

ペットにメールを運んでもらう

本製品にはメールソフト「PostPet」がプレインストールされています。
プロバイダによっては、PostPet を使えない場合があります。
契約するプロバイダが対応しているかどうか、ご確認ください。
ポストペットは、かわいいペットが電子メールを運ぶメールソフトです。
あなたやあなたのお友だちあてにメールを書いたり、宝物を拾ってきたりし
ます。おやつやおもちゃをあげたり、ときどき洗ってあげたりして、ペット
との暮らしを楽しんでください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windows] をクリックする
初めて使うときは設定画面が表示されます。
- 2 必要な内容を入力し①、[次に進む] ボタンをクリックする②
入力する内容については、各プロバイダにご確認ください。
また『PostPet のヘルプ』もご覧ください。

PostPet for Windows ver. 2.0 Setup

PostPet™ セットアップ

はじめに、ネットワークの設定をします。以下の各項目を入力したあと、
[次に進む]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、
この作業を中断出来ます。

① 基本設定(最低限必要な設定)

例)は、So-netの場合の設定例です

SMTPサーバー:
例) mail.△△△.so-net.ne.jp

POPアカウント:
例) ○○○@pop.△△△.so-net.ne.jp

電子メールアドレス:
例) ○○○@△△△.so-net.ne.jp

名前:

パスワード:

パスワードの保存

サーバーにあるメールを 残す 削除

キャンセル

ヘルプの起動方法 ⇨ 「本節 - ヘルプの起動方法」

3 ペットを選ぶ

ここでは「テディベア」を例に説明します。

- ①ペットを選び、絵の上でクリックする
ポインタを絵の上にあわせると、
[特徴] に説明が表示されます。

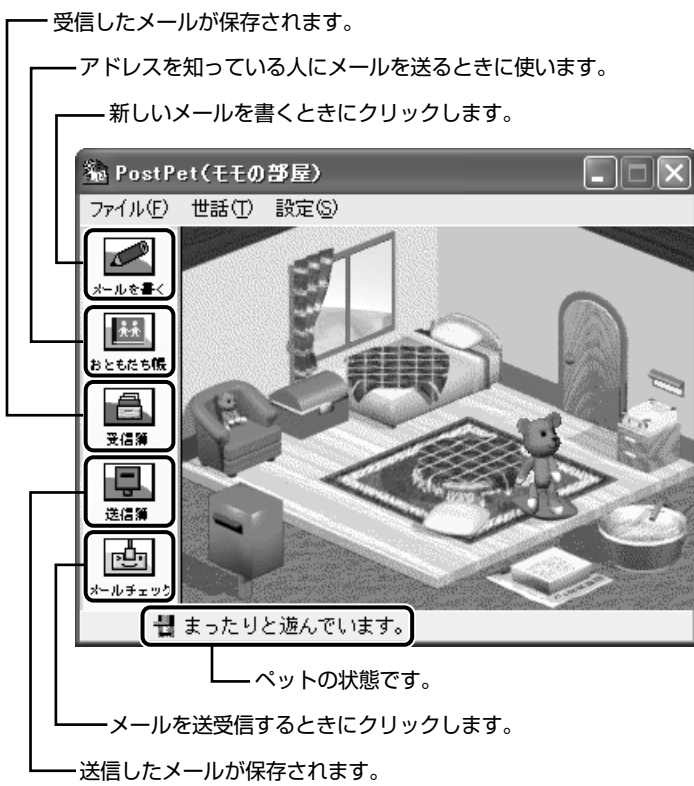


- ②ペットや飼い主について入力する

- ③入力がすべて終わったら
クリックする

ペットを変更したい
ときにクリックする

[ペットの部屋] 画面が表示されます。



詳しい使いかたは『PostPetのヘルプ』をご覧ください。

ヘルプの起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windowsの使い方] をクリックする

4

知っておきたいマナー

半角カタカナは使わない

インターネットにはいろいろな機種のコピュータが接続されています。機種によっては文字を表示するためのコードが違うため正しく表示されなかったり、「文字化け」してしまふことがあります。せっかくメールを送っても読めないのでは、意味がありません。メールで使っはいけない文字の代表が「半角カタカナ」です。「半角カタカナ」は文字化けの原因になるばかりではなく、他のコンピュータを誤作動させるおそれもあるので使わないようにしましょう。また、丸数字やローマ数字、特殊記号なども使わないほうがいいでしょう。

<使用できる文字・使用しないほうがよい文字>

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸数字（①、②、③など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど） 罫線記号（ㄥ、ㄊ、ㄎなど） 音符記号（♪、♭など） 論理記号（∩、∃、≧など） 特殊文字（㊤、(株)、cmなど） 旧字体、外字など

読みやすさに気配りを

メールでやり取りする文章は、段落ごとに1行空けたり、箇条書きで必要事項をまとめるなど読みやすさに配慮しましょう。

1行の長さに気を付けて


1行の長さはだいたい全角30字～35字程度を目安に書くように心がけましょう。メールソフトによっては自動的に改行が入るものがありますが、文章の途中で改行されたために、読みにくくなってしまうことがあります。文章を作成するときに、適度に改行を入れておくといいでしょう。

件名は一目で内容が分かるように

メールの件名（題名）は、一目で内容がわかるような簡潔なものにしましょう。

署名を入れる

誰からのメールかわかるようにメッセージの終わりに署名（名前やメールアドレスなど差出人情報）を入れることをおすすめします。ただし、署名に自宅の住所や電話番号、職場の連絡先などの個人情報を必要以上に開示していないか十分に注意することを忘れないようにしましょう。署名は複数用意できますから、相手によって使い分けことができます。

 署名の作成について ⇨ 「本章 2-13 署名を入れる」

添付ファイルの容量に注意

ファイルを添付するとき、ファイルの容量に十分注意しましょう。容量の大きい画像ファイルなどを添付すると、メール自体の容量が大きくなります。相手がダイヤルアップで接続している場合、メールを受信するのに時間がかかるので、電話代がどんどんかかってしまいます。画像ファイルは圧縮して容量を小さくして添付するようにしましょう。

チェーン・メールに要注意

「不幸の手紙」のように、不特定多数の人に同じ内容の伝言（転送）を求めるメールを「チェーン・メール」といいます。チェーン・メールはメールサーバやネットワーク回線の負担になりますので、転送しないようにしましょう。

宛先、CC、BCCの意味と使い分け

メールには[宛先]([TO])のほかに、[CC]と[BCC]があります。[CC]はCarbon Copyの略で、[宛先]のコピーという意味です。直接用件を伝えたい宛先以外の人に「参考までに」という意味合いで同じメールを送るとき使います。[BCC]はBlind Carbon Copyの略で、[CC]と同様[宛先]のコピーです。[CC]と[BCC]の大きな違いは、[CC]で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかってしまいますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわからないということです。他に誰に送ったかを知られずに送りたいときに使います。


楽しい顔文字の一例

文字化けしない記号を組み合わせて作った、顔の表情のマークを顔文字といいます。文字だけのやりとりは意外と誤解を招いたりすることも多いものです。気持ちを表す顔文字が文章の中に入っていると受け取る方もちょっと違った感じになるはず。ほんの一例を紹介します。

にこにこ	!(^^)! ^_^ (^)o(^) (#^.#) (*^.**) (*^_.**) (^.^) (^.^) (^_^)/ \(^o^)/
むか	(-") (—") (^_^x)
ごめん	_(._)_ _(^)_ <(_)> m(_)_m
あせ	(^^ゞ (^.^;) (-.~;) (~.~)
びっくり	(*_*) (*_*; (@_@) \(@o@)/!
なぞ	(. . ? (?_?)

MS-IME2002では、いろいろな顔文字を読みから入力することができます。

変換モードが[一般]のときに、顔文字を変換して入力するには、次の設定を行う必要があります。

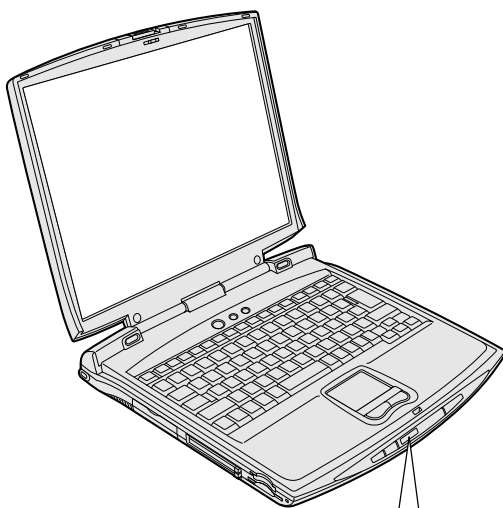
- ① IME ツールバーの [ツール] アイコン () をクリックし、[プロパティ] をクリックする
[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [辞書/学習] タブをクリックする
- ③ [システム辞書] の [Microsoft IME 話し言葉・顔文字辞書] チェックボックスをクリックし、() の状態にする

5

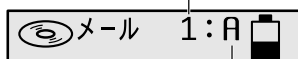
新着メールをモードパネルで確認する

メールソフトを起動しなくても、設定した日時に自動的に Windows を起動して新着メールが届いているかどうかチェックできます。これを新着メールチェック機能といいます。

新着メールが届いていると、モードパネルに新着メール数が表示されます。



モードパネル



新着メール数が表示されます。

イニシャルを表示できます。
あらかじめ設定が必要です。

新着メールチェック機能を使用するには、あらかじめ設定が必要です。本節をよくお読みのうえご使用ください。



- 新着メールチェックを行うには、電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。

■ 新着メールチェック機能を使用できる状態

新着メールチェック機能を使用するときは、必ず AC アダプタを使用し、本製品と電話回線をモジュラーケーブルで接続してください。新着メールチェック機能はパソコンが次の状態のときに使用できます。

- 電源が入っているとき
- スタンバイ機能を実行しているとき
- 休止状態のとき

スタンバイ機能を実行中や休止状態にしているときは、設定した時間にパソコンが自動的に起動し、新着メールをチェックします。

新着メールチェック機能は、メールソフトの設定が完了している場合に使用できます。

メールソフトの設定についてはご契約のプロバイダからの資料をご覧ください。

1 新着メールチェックの設定をする

Windows ログオンパスワードを設定する

新着メールチェック機能を設定するには、Windows のログオンパスワードの入力が必要です。

あらかじめ Windows のログオンパスワードを設定しておいてください。




Windows のログオンパスワードについて

➔ 『もっとステップアップ 2章 5-1 Windows ログオンパスワード』

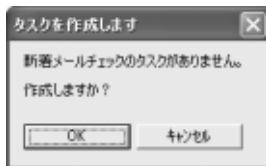
[メール] アイコンを通知領域に表示する (新着メールチェック機能を開始する)

新着メールチェック機能は、「メール着信ユーティリティ」で設定します。

「メール着信ユーティリティ」は次の手順で起動します。

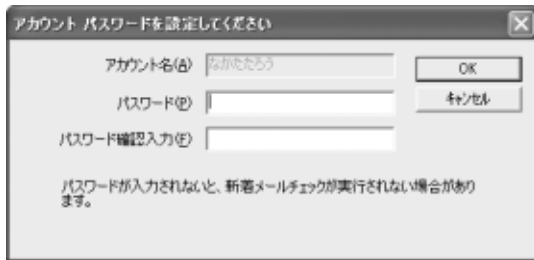
- 1 [コントロールパネル] を開き、[ パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 2 [新着メールチェックのスケジュール設定] をクリックする

この操作を初めて行なった場合、[タスクを作成します] 画面が表示されます。



次の手順を行なってください。

- ① 表示される内容を確認して、[OK] ボタンをクリックする
[アカウント パスワードを設定してください。] 画面が表示されます。



- ② [パスワード] と [パスワード確認入力] に、それぞれのパスワードを入力する
ここで入力するアカウント パスワードとは、Windows のログオンパスワードです。新着メールチェック機能を使用するには、Windows のログオンパスワードが設定してあり、この画面でパスワードを入力する必要があります。Windows のログオンパスワードを設定していない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、「メール着信ユーティリティ」を終了してください。Windows のログオンパスワードを設定したうえで、もう 1 度「メール着信ユーティリティ」を起動してください。
- ③ [OK] ボタンをクリックする




Windows のログオンパスワードについて

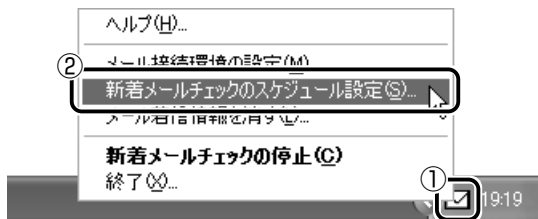
☞ 『もっとステップアップ 2 章 5-1 Windows ログオンパスワード』

- 3 [基本設定] タブで [実行する (指定された時刻に新着メールのチェックを行う)] をチェックする ()
- 4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
- 5 [基本設定] タブで [コンピュータ起動時に常駐する] をチェックする ()
チェックしておくとおパソコン起動時に自動的に [メール] アイコン () が通知領域に表示され、新着メールチェック機能が開始できるので便利です。必ずチェックしておく必要はありませんが、チェックしておくことをおすすめします。
- 6 [OK] ボタンをクリックする
通知領域に [メール] アイコン () が表示されます。
続けて新着メールチェックのスケジュールを設定してください。

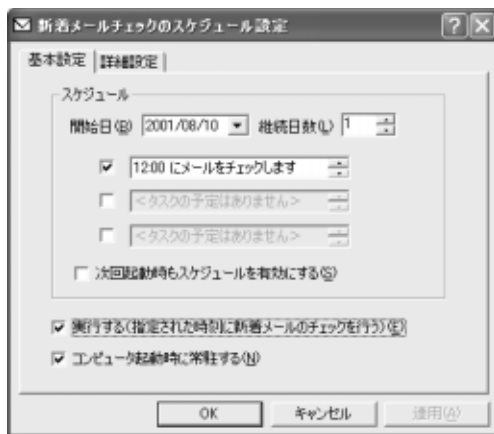
新着メールチェックのスケジュールを設定する


新着メールチェックを開始する日や時間を設定します。

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし①、表示されたメニューから [新着メールチェックのスケジュール設定] をクリックする②



- 2 [基本設定] タブで [スケジュール] を設定する




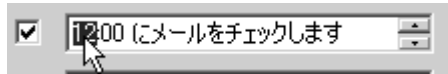
- ① [開始日] でチェックを開始する日を設定する
 ボタンを押すとカレンダーが表示されますので、開始したい日をクリックしてください。
- ② [継続日数] でチェックを続ける期間を設定する
最大 30 日まで設定できます。

③ 何時に新着メールチェックを行うか設定する

1日に最大3回まで設定できます。チェックしたい回数だけチェックボックスをチェックします ()。

画面は12:00に1回だけチェックする場合です。

時間を設定するには、設定したい [時間] [分] にポインタをあわせてクリックします。数字が反転表示しますので、 ボタンで設定します。



3 [詳細設定] タブで [タスクの実行時にスリープを解除する]

と [レジューム後ハイバネーションする] をチェックする

スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときに新着メールチェック機能を使用するときにチェックします。


[レジューム後ハイバネーションする] をチェックすると、新着メールチェック後に、自動的に休止状態になります。

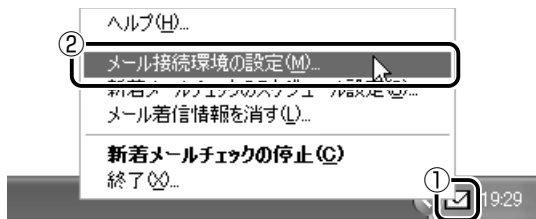
4 [OK] ボタンをクリックする

新着メールチェックの接続環境を設定する

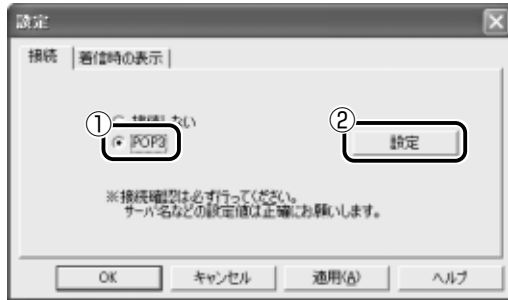
初めて新着メールチェック機能を使用するときは、メールソフトの接続環境を設定します。

新着メールチェック機能は新着メール数だけを確認できます。メールの内容を確認することはできません。メールの内容を確認するには、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする②



- 2 [接続] タブで [POP3] をチェックし①、[設定] ボタンをクリックする②



- 3 必要な項目を入力する

プロバイダから指定されている [サーバ名] [ユーザ名] [パスワード] を入力してください。





- 4 [OK] ボタンをクリックする

- 5 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

モードパネルの設定

新着メールがあったときに、モードパネルに新着メール数が表示されるように設定します。

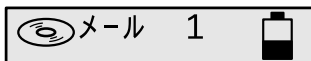
■新着メール数を表示する

- 1 コントロールパネルを開き、[ プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- 2 [ 東芝コントロール] をクリックする
- 3 [モードパネル] タブの [表示モード] で、[新着メール情報を表示する] をチェックする ()



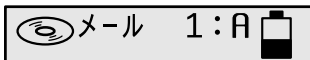
- 4 [OK] ボタンをクリックする

新着メールチェックが実行され、新着メールがあると、モードパネルに [メール XX] と表示されます。




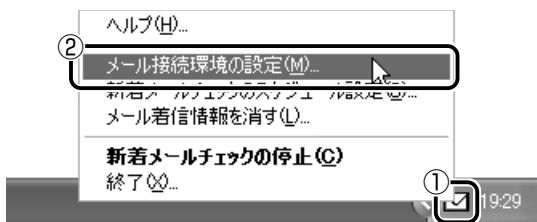
■新着メール数とイニシャルを表示する

モードパネルに新着メール数を表示するとき、イニシャルとしてお好きなアルファベット（大文字、小文字）半角1文字を追加して [メール XX:X] と表示させることができます。



新着メール数を表示する設定を行なったうえで設定してください。

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする②




- 2 [着信時の表示] タブの [着信時の表示イニシャル] に、設定したいアルファベットを1文字入力する
設定できる文字は、アルファベットの大文字（A～Z）または小文字（a～z）のうち1文字です。半角で入力してください。





- 3 [OK] ボタンをクリックする

インターネットへの接続の設定

1 ACアダプタとモジュラーケーブルを接続する


 電話回線への接続 ⇨ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

2 [コントロールパネル] を開き、[ ネットワークとインターネット接続] をクリックする

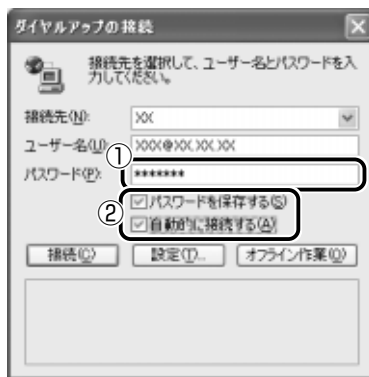
3 [ インターネットオプション] をクリックする
[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

4 [接続] タブで [通常の接続でダイヤルする] を選択し、
[OK] ボタンをクリックする


5 Internet Explorer を起動する

 Internet Explorer の起動方法
⇨ [5章 1 Internet Explorer の使いかた]

6 [ダイヤルアップの接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力し①、[パスワードを保存する] と [自動的に接続する] をチェックする② ()



7 [接続] ボタンをクリックする

1 度インターネットに接続して、設定を保存します。[キャンセル] ボタンや [閉じる] ボタン () をクリックすると設定は保存されません。

インターネットに接続されると、[ダイヤルアップの接続] 画面が消えます。

8 インターネットへ接続を続ける必要がない場合、Internet Explorer の [閉じる] ボタン () をクリックする

9 [今すぐ切断する] をクリックする

インターネットへの接続が終了します。

パソコンを起動せずに新着メールチェックをする

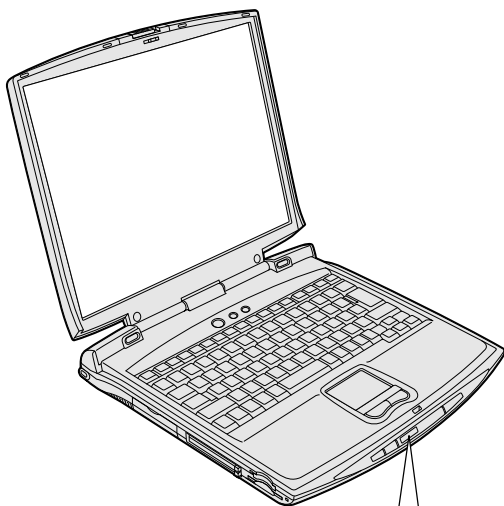
パソコンが起動していないときに、新着メールチェック機能を使うには、スタンバイを実行するか、休止状態にしてください。

 スタンバイの実行、休止状態について

☞ 『もっとステップアップ 1 章 3 パソコンの使用を中断する』

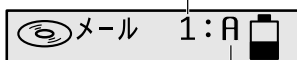
2 新着メールを確認する

設定したスケジュールに従って、新着メールチェックが行われます。新着メールがあると、モードパネルに新着メール件数を表示します。



モードパネル


新着メール数が表示されます。



イニシャルを表示できます。
あらかじめ設定が必要です。

■ メール着信情報を消す



メールソフトを起動してメールの内容を確認した場合、新着メールをすべて既読にしてもモードパネルの新着メール件数の表示は消えません。この場合、次の方法で表示を消してください。

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [メール着信情報を消す] をクリックする



モードパネルの新着メール件数の表示が消えます。

3 新着メールチェックを停止する


新着メールチェック機能を一時停止する

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの停止] をクリックする
アイコンが () に変わり、新着メールチェック機能を一時的に停止します。

新着メールチェック機能を再開する

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの開始] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンが () に変わり、設定したスケジュールに従って新着メールチェックを再開します。

新着メールチェック機能を終了する

- 1 通知領域の [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [終了] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンの表示が消えます。
この操作を行なったあと、再び新着メールチェック機能を使用したいときは、「本節 1 - [メール] アイコンを通知領域に表示する (新着メールチェック機能を開始する)」をご覧ください。

7章 本体の機能を知ろう

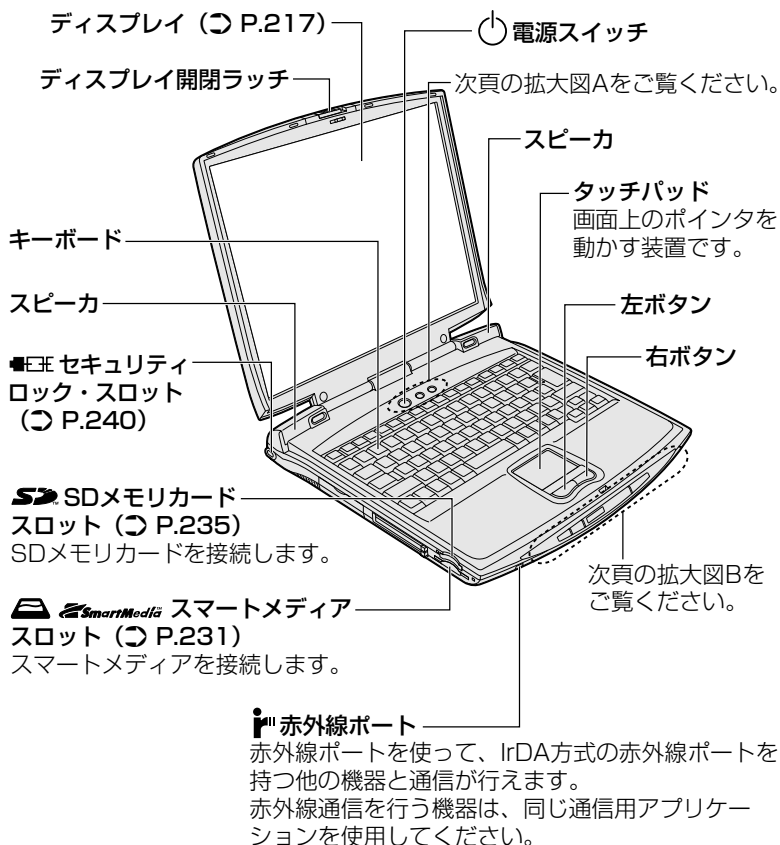
1	各部の名前	196
2	システムインジケータ	201
3	モードパネルと各ボタン	202
4	ディスプレイ	217
5	ハードディスクドライブ	218
6	サウンド機能	220
7	CD / DVD	225
8	スマートメディア	231
9	SDメモ리카ード	235
10	セキュリティロック	240

1

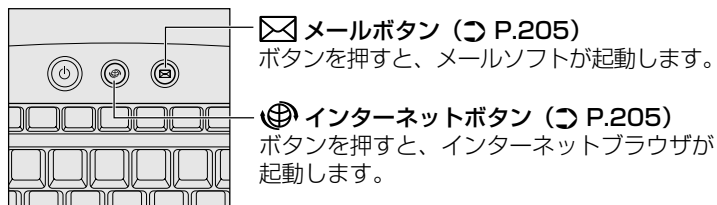
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明については、各参照ページをご覧ください。

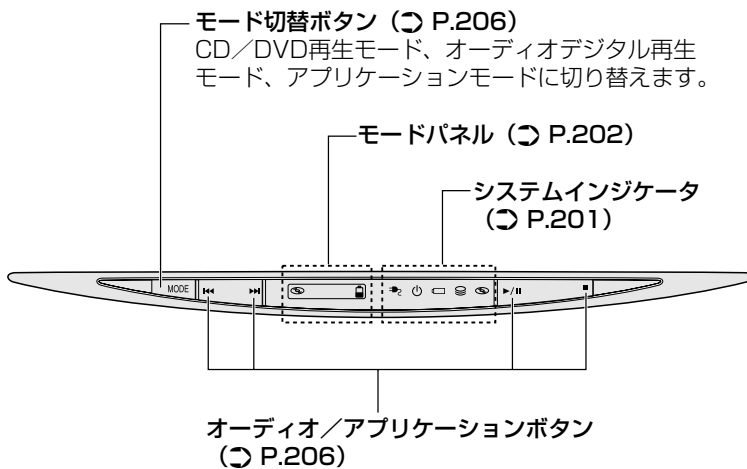
前面図



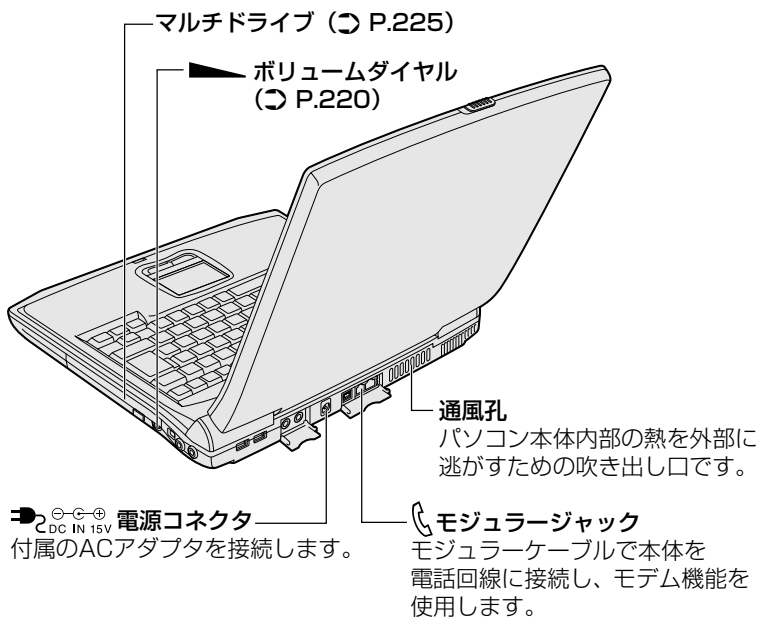
【拡大図 A】



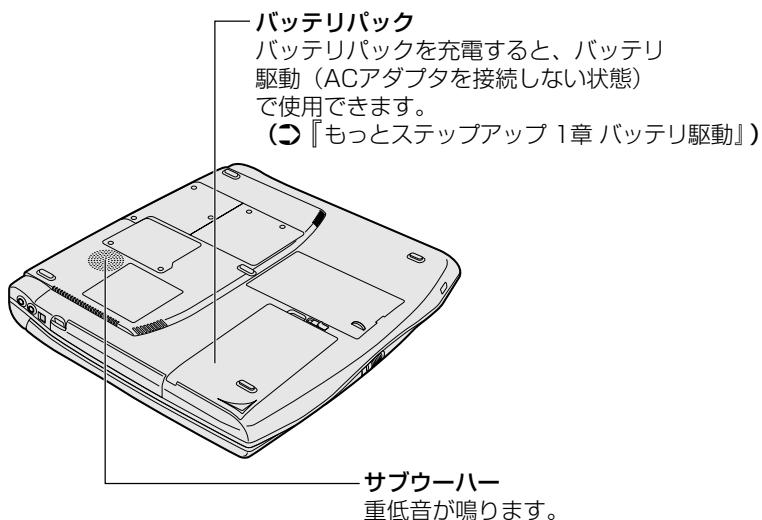
【拡大図 B】



背面図



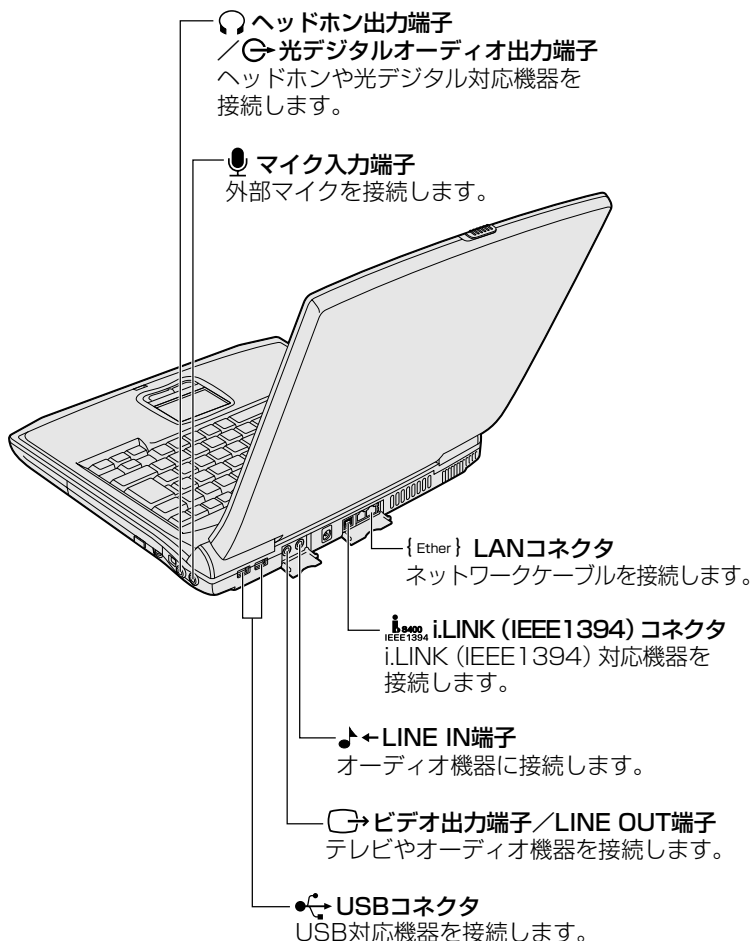
裏面図



周辺機器の接続場所

次の場所には、周辺機器が接続できます。詳しい説明は、『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』をご覧ください。

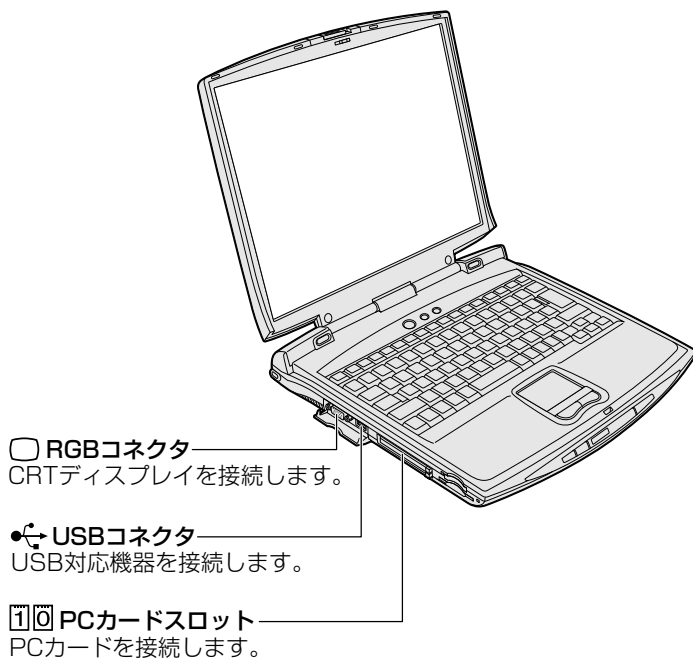
【背面図】



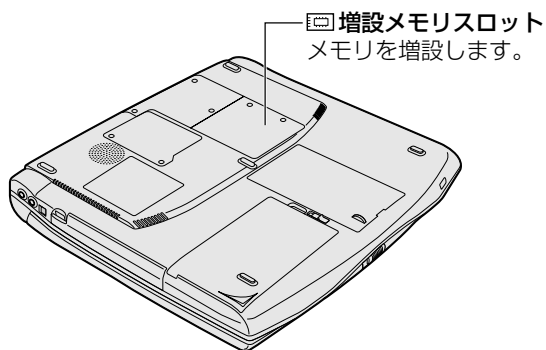
7章

本体の機能を知ろう

【前面図】



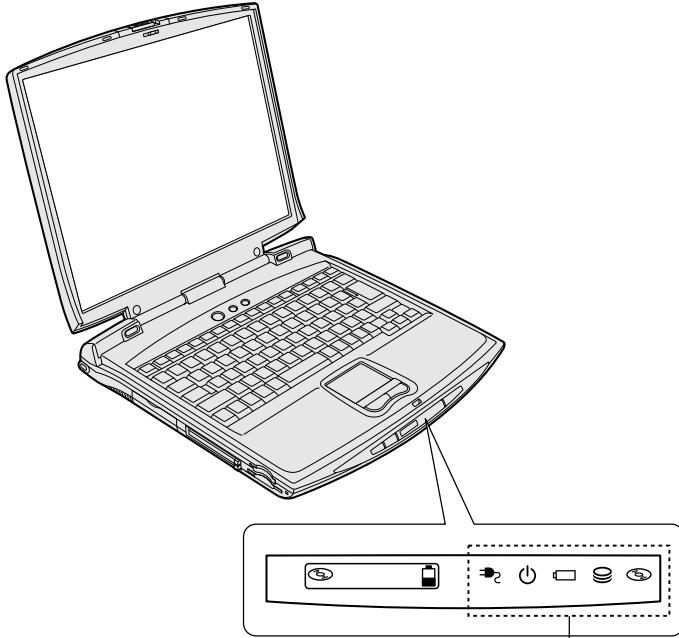
【裏面図】




2

システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。インジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



システムインジケータ

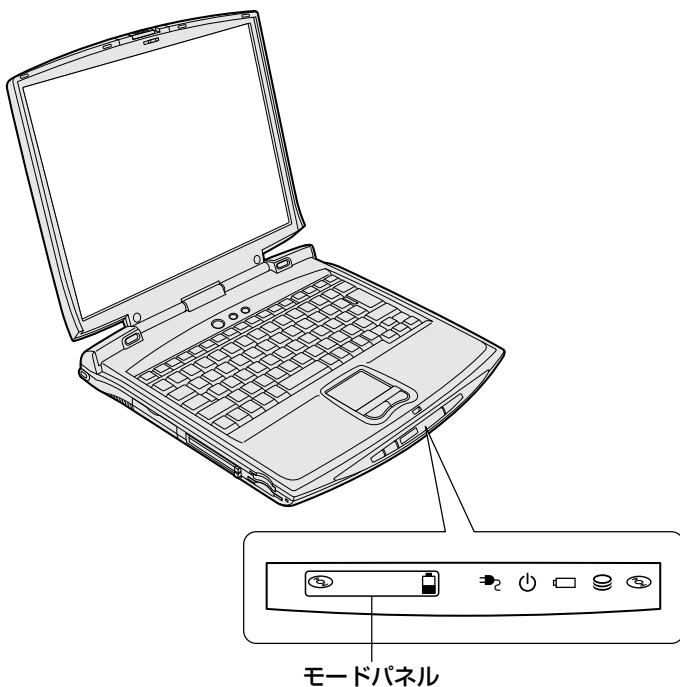
	DC IN LED	電源コードの接続 ➔ 「2章 1-1 電源を入れる（2回目以降）」
	Power LED	電源の状態 ➔ 「2章 1-1 電源を入れる（2回目以降）」
	Battery LED	バッテリーの状態 ➔ 『もっとステップアップ 1章 バッテリ駆動』
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている ➔ 「本章 5 ハードディスクドライブ」
	CD-ROM LED	マルチドライブにアクセスしている ➔ 「本章 7 CD/DVD」

3

モードパネルと各ボタン

1 モードパネル

モードパネルは、パソコンの状態をアイコンで表示したり、時計、「LIVE MEDIA PLAYER」でのCDの再生時間、新着メール数などを文字列で表示したりできます。



モードパネルの点灯






モードパネルは、次のときに、青色に点灯します。

- 電源スイッチを押したとき
- モード切替ボタン、オーディオ／アプリケーションボタンを操作したとき

モードパネルに表示されるアイコン

モードパネルに表示されるアイコンの表示状況によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。


次のアイコンはパソコン本体の動作状況を表しています。

	CD/DVD再生アイコン	CD/DVD再生モード ↳ 『こんなことができる 1章 1 音楽CDを聴く』 ↳ 『こんなことができる 2章 1 DVD-Videoを観る』
	オーディオデジタル再生アイコン	オーディオデジタル再生モード ↳ 『こんなことができる 1章 2 音楽ファイルを聴く』
	アプリケーション起動アイコン	アプリケーションモード ↳ 「本節 3 オーディオ／アプリケーションボタン」
	オーディオ／アプリケーションボタンロック機能アイコン	オーディオ／アプリケーションボタンがロックされている ↳ 「本節 3 オーディオ／アプリケーションボタン」
	バッテリー残量アイコン	バッテリーの状態 ↳ 『もっとステップアップ 1章 バッテリー駆動』

モードパネルに表示される文字列

モードパネルには、半角のカタカナと英数字の文字列が表示できます。表示される内容は次のとおりです。

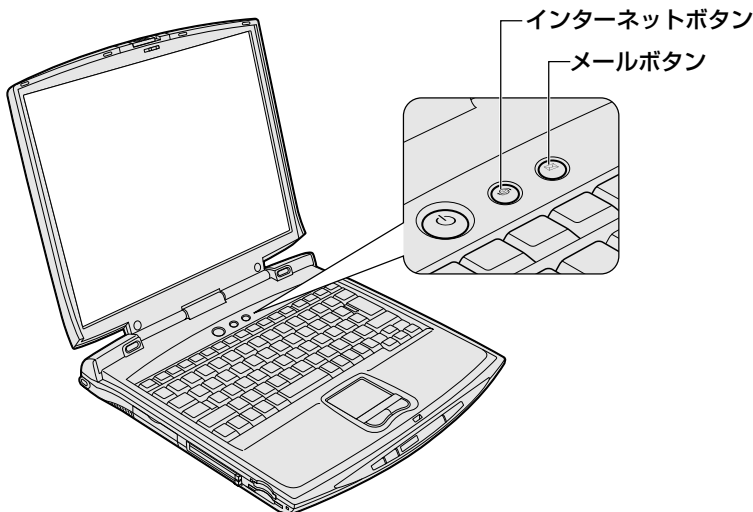
モードパネルの表示	内容
時計	パソコンが次の状態のときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・電源が入っているとき・スタンバイ機能を実行しているとき・休止状態のとき・電源が切れているとき 「LIVE MEDIA PLAYER」や「TOSHIBA Audio Manager」の起動中は、音楽CDや音楽ファイルの情報が表示されます。
新着メール数	パソコンは次の状態のときに新着メール数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・電源が入っていて、メールアプリケーションが起動していないとき・スタンバイ機能を実行しているとき・休止状態のとき・電源が切れているとき
登録した文字列	アプリケーションが起動されていないときに表示される文字列です。パソコンが次の状態のときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・電源が入っているとき・スタンバイ機能を実行しているとき・休止状態のとき・電源が切れているとき 「東芝コントロール」であらかじめ半角20文字以内のカタカナと英数字の文字列を登録できます。
メッセージ	システムのメッセージやアプリケーションのメッセージが表示されます。例えば、電源を入れたときに、「Welcome」と表示されます。パソコンの電源が入っているときに表示されます。

 文字列の登録について ⇨ 「本節 4 東芝コントロールで設定する」

2 ワンタッチボタン

本製品にはインターネットボタン、メールボタンの2種類のワンタッチボタンがあります。

ボタンを押すだけで、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトを起動することができます。



各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。起動するアプリケーションは、「東芝コントロール」で自由に変更できます。ご購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。


- インターネットボタン Internet Explorer
- メールボタン Microsoft Outlook

【パソコン本体の電源が入っていないとき】

電源が入り、Windows 起動後、設定されているアプリケーションが起動します。




【スタンバイ状態／休止状態のとき】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

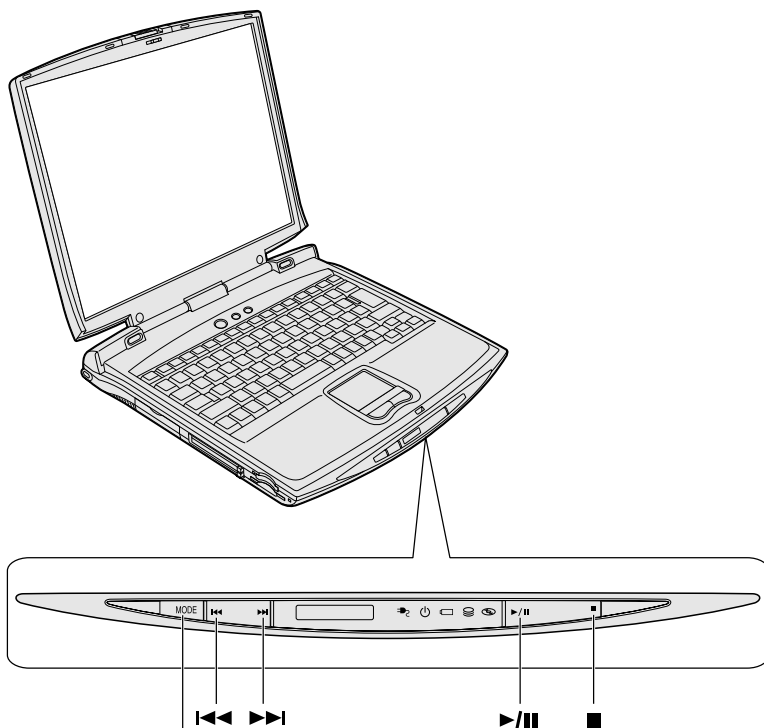
 アプリケーションの設定について

☞ 「本節 4 東芝コントロールで設定する」

3 オーディオ／アプリケーションボタン


モード切替ボタンで、CD／DVD再生モード（）、オーディオデジタル再生モード（）、アプリケーションモード（）にしているときに、オーディオ／アプリケーションボタンで操作できます。


ただし、オーディオ／アプリケーションボタンで操作するアプリケーションとモードの状態（モードパネルのアイコン表示）が対応していないと操作できません。





モード切替ボタン


モード切替ボタンを押すごとに、モードが切り替わります。
モードの状態は、モードパネルにアイコンで表示されます。


- CD / DVD 再生モード ()
CD / DVD を再生できます。

 詳細について ⇨ 『こんなことができる 1 章 1 音楽 CD を聴く』
『こんなことができる 2 章 1 DVD-Video を観る』






- オーディオデジタル再生モード ()
音楽ファイルを再生できます。

 詳細について ⇨ 『こんなことができる 1 章 2 音楽ファイルを聴く』

- アプリケーションモード ()
登録したアプリケーションを起動できます。

 詳細について ⇨ 「本節 4 東芝コントロールで設定する」

各モード時に、オーディオ / アプリケーションボタンはそれぞれ次の機能を持ちます。


ボタン	CD / DVD 再生モード ()	オーディオデジタル再生モード ()	アプリケーションモード ()
	逆送りボタン		アプリケーションボタン1
	先送りボタン		アプリケーションボタン2
	再生 / 一時停止ボタン		アプリケーションボタン3
	停止ボタン		アプリケーションボタン4

オーディオ／アプリケーションボタンロック機能

本製品を持ち運ぶ場合、誤ってオーディオ／アプリケーションボタンが押されると、アプリケーションが起動してしまう可能性があります。そこで、オーディオ／アプリケーションボタンを一時的に機能しないようにする「オーディオ／アプリケーションボタンロック機能」があります。

なお、オーディオ／アプリケーションボタンロック機能はパソコンの電源が切れている場合のみ使用できます。

オーディオ／アプリケーションボタンロック機能の使用	モード切替ボタンを4秒以上押す
オーディオ／アプリケーションボタンロック機能の解除	モード切替ボタンを4秒以上押す


オーディオ／アプリケーションボタンロック機能の使用中は、モードパネルにオーディオ／アプリケーションボタンロック機能アイコン（）が表示されます。


4 東芝コントロールで設定する

「東芝コントロール」でモードパネルやボタンの設定ができます。設定できるのは次のとおりです。

- アプリケーションが起動されていないときに、モードパネルに表示される文字列
- 新着メールチェック機能を使用するときのモードパネルの表示
- インターネットボタン、メールボタンを使用して起動するアプリケーションの変更
- モード切替ボタンを使用して起動するアプリケーションの変更や追加

起動方法

1 [コントロールパネル] を開き、[ プリンタとその他のハードウェア] をクリックする

2 [ 東芝コントロール] をクリックする

[ボタン] タブ

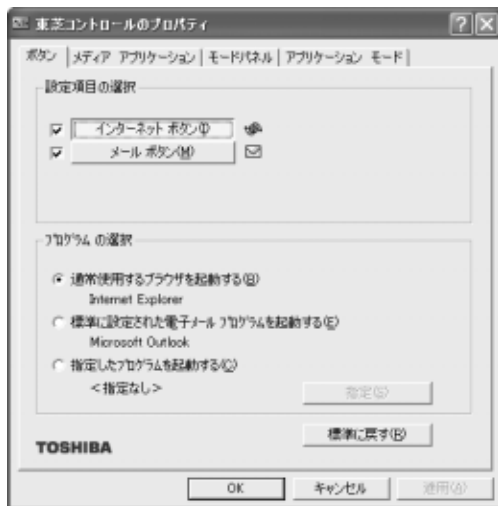
インターネットボタン、メールボタンを押したときに起動するアプリケーションを変更できます。



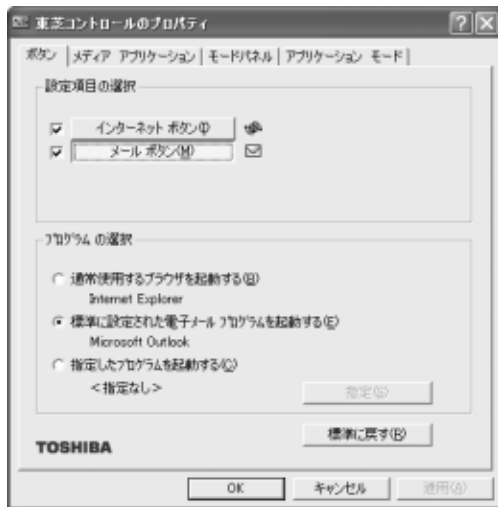
1 [インターネットボタン] または [メールボタン] ボタンをクリックする

[プログラムの選択] が表示されます。

【[インターネットボタン] ボタンをクリックした場合】



【[メールボタン] ボタンをクリックした場合】



2 アプリケーションを選択して、[OK] ボタンをクリックする

[メディアアプリケーション] タブ

モード切替ボタンで、CD / DVD 再生モード (👁️)、オーディオデジタル再生モード (🎵) を選択したときに起動するアプリケーションが変更できます。



- 1 [プレーヤの選択] で、変更したモードの ▾ ボタンをクリックし、表示される一覧からアプリケーションを選択する。選択できるのは次のアプリケーションです。

オーディオ/ビデオコントロール	LIVE MEDIA PLAYER Windows Media Player TOSHIBA Audio Manager
CDオーディオコントロール	LIVE MEDIA PLAYER Windows Media Player
DVDビデオコントロール	WinDVD

- 2 [OK] ボタンをクリックする

[モードパネル] タブ

モードパネルの表示を設定できます。




- 1 [表示モード] で、モードパネルに表示したい内容を選択する次の設定を選択できます。[オーナーストリング表示] を選択する場合は、登録したい文字列を入力してください。

時計表示 (24H)	時計を表示します (24時間)。
時計表示 (12H)	時計を表示します (12時間、AM/PM)。
オーナーストリング表示	登録した文字列を表示します。 表示できる文字列は半角のみ、20字以内のカタカナおよび英数字です。



2 [OK] ボタンをクリックする

- メモ**
- 時計表示とオーナーストリング表示では、オーナーストリング表示が優先されます。
 - [新着メール情報を表示する] をチェックすると、新着メールチェックを行なって新着メールがあるときにモードパネルに新着メール数が表示されます。[新着メール情報を表示する] をチェックし、[設定] ボタンをクリックすると、[新着メールチェックのスケジュール設定] 画面が表示されます。

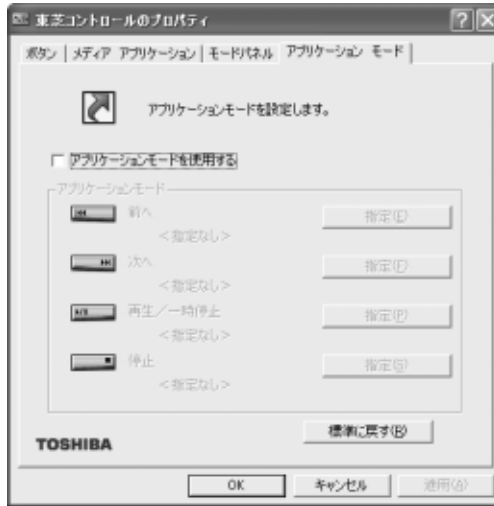
 参照 新着メールチェックについて

☞ 「6章 5 新着メールをモードパネルで確認する」

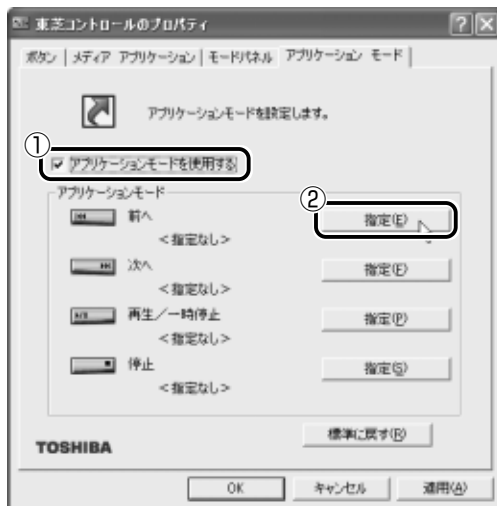
[アプリケーション] タブ

モード切替ボタンでアプリケーションモード（）を使用するかどうかを設定します。また、アプリケーションモード（）時に起動するアプリケーションを設定できます。

ここでは、アプリケーションボタン1に「ペイント」を設定する例で変更方法を説明します。

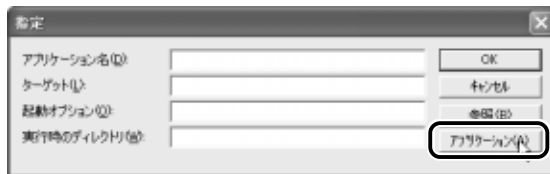


- 1 [アプリケーションモードを使用する] をチェックし①、
[アプリケーションモード] で設定を行うアプリケーション
ボタンの [指定] ボタンをクリックする②



[指定] 画面が表示されます。

- 2 [アプリケーション] ボタンをクリックする



[アプリケーションエクスプローラ] 画面が表示されます。

- 3 [フォルダ] の [プログラム] をダブルクリックする



[プログラム] フォルダの内容が表示されます。

4 [アクセサリ] をクリックする



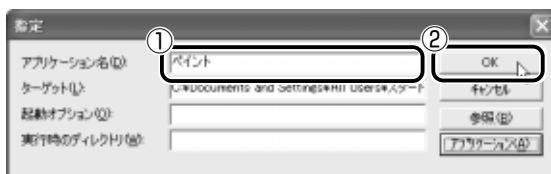
[アプリケーション] に表示されているアイコンが切り替わります。

5 [アプリケーション] の [ペイント] アイコン () をクリックし、[OK] ボタンをクリックする



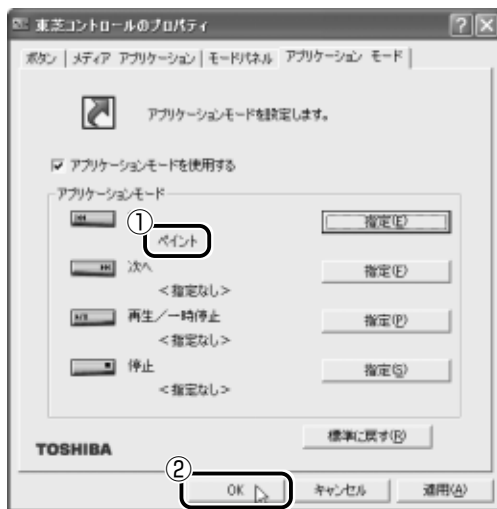
[指定] 画面に戻ります。

6 [アプリケーション名] にペイントが設定されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



[東芝コントロールのプロパティ] 画面に戻ります

- 7 設定したアプリケーションボタンの下に「ペイント」と表示されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



アプリケーションボタンにペイントが設定されます。

- メモ** ● ご購入時の設定に戻す場合は、[東芝コントロールのプロパティ] 画面で [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。

4

ディスプレイ

本製品では表示装置としてTFT方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。ドットは点の数を表します。

表示装置には、液晶ディスプレイの他に、テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示するCRTディスプレイもあります。

本製品は、CRTディスプレイを接続して使用することもできます。



参照 **CRTディスプレイの接続**

⇒ 『もっとステップアップ 3章 8 CRTディスプレイを接続する』

ディスプレイの表示方法や、デスクトップのデザインを変更することもできます。



参照 **詳細について** ⇒ 『もっとステップアップ 2章 2 ディスプレイの設定』

■ 表示について

TFT方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすることは困難ですので、ご了承ください。


5

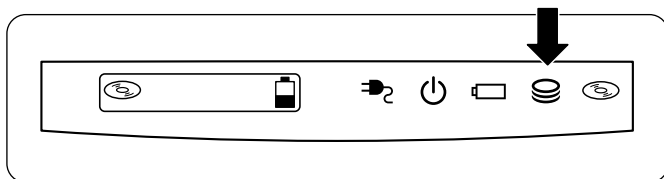
ハードディスクドライブ


本製品にはハードディスクドライブが内蔵されています。取りはずしはできません。

必要があれば、PC カードタイプ（TYPE II または TYPE III）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすこともできます。


ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LED が点灯します。



- Disk  LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。



- PC カードタイプや i.LINK (IEEE 1394) 対応機器などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk  LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。



- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起ったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-R、CD-RWなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

6

サウンド機能

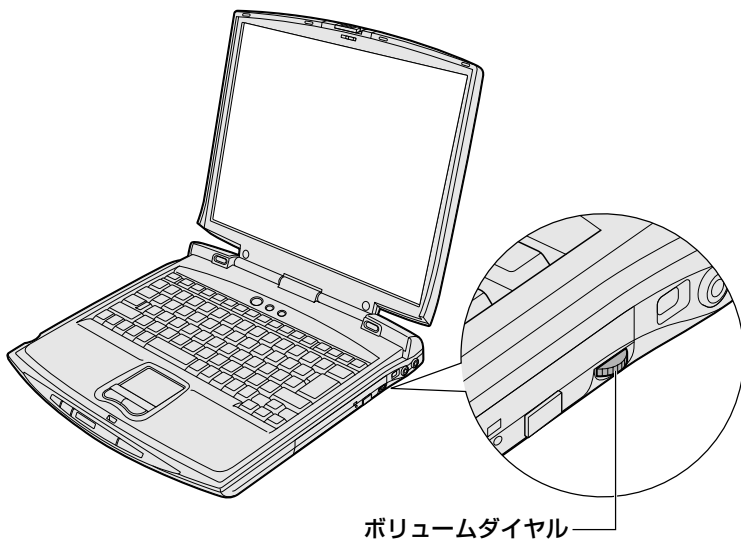
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System に適合しています。スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、または Windows の「ボリュームコントロール」を使用します。

ボリュームダイヤルで調整する


音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



Fn + **Esc** キーを使う

- 1 **Fn** キーを押したまま、**Esc** キーを押す
スピーカのミュート／ミュート解除が切り替わります。

[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] から調整する

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- 2 [スピーカの設定を変更する] をクリックする
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [デバイスの音量] でつまみをドラッグして調整する



使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す

ボリュームコントロールで調整する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
[ボリュームコントロール] 画面が表示されます。



2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

■ 音楽／音声を再生するとき

「ボリュームコントロール」の各項目では次の音量が調整できます。

ボリュームコントロール：全体の音量を調整する

WAVE：MP3 ファイル、Wave ファイル、
音楽CD (Windows Media Player の場合)、DVD-Video など

CD オーディオ：音楽CD (Windows Media Player 以外の
場合)

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

パソコン上で録音するとき

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
[ボリュームコントロール] 画面が表示されます。
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] をチェックする
[ステレオ アウト] [マイクロフォン] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [レコーディングコントロール] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする
[ステレオ アウト] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽 CD などを録音するとき
[マイクロフォン] : 外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



- 同時に2つのデバイスを選択することはできません。
- 録音したい音楽／音声は「ボリュームコントロール」の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音するとき

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音する場合は、あらかじめボリュームダイヤル、または「ボリュームコントロール」の [WAVE] など、各ソース用のコントロールで再生している音量を調節しておきます。



- 音量を最小にしたり、ミュート（消音）にすると、光データは出力されません。
- ボリュームダイヤルでは、本体のスピーカからの音量のみを調節できます。



ボリュームコントロールについて
⇒ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」


7

CD / DVD


本製品にはマルチドライブが内蔵されています。マルチドライブはCD-R/RWドライブとDVD-ROMドライブ両方の機能を持ちます。

本製品のマニュアル『安心してお使いいただくために』に、CD / DVDをお使いになるときに守っていただきたいことが記述されています。

CD / DVDをお使いになる場合は、あらかじめその記述をよくお読みになり、必ず指示をお守りください。

 『安心してお使いいただくために CD / DVD の取り扱いについて』

注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。マルチドライブの故障の原因になります。
- ・ CD-ROM  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD / DVD を取り出す操作をしないでください。CD / DVD が傷ついたり、マルチドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD / DVD のデータやマルチドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ マルチドライブのトレイを開けたときに、CD / DVD が回転している場合には、停止するまでCD / DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。



- マルチドライブに保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。



イジェクトホールについて

➔ 「本節 2- ディスクトレイが出てこない場合」

1 CD/DVD

使用できる CD

読み込みできる CD は、次の種類です。

- 音楽用 CD
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録されています。
- CD-ROM
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものを使用できます。
- CD エクストラ
記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

書き込みできる CD は次の種類です。

- CD-R
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
CD-R メディアに書き込む際には、8 倍速対応 CD-R メディアをご使用ください。
- CD-RW
CD-RW メディアに書き込む際には、2 / 4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアまたは High-Speed CD-RW（4 ~ 10 倍速）対応メディアをご使用ください。
High-Speed CD-RW 対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大 8 倍速になります。

使用できる DVD


読み込みできる DVD は、次の種類です。

- DVD-ROM
- DVD-Video
映像再生用です。映画などが収録されています。



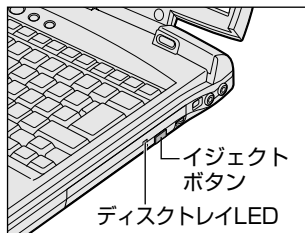
- DVD-Video再生時は、ACアダプタを接続した状態でご使用になることをおすすめします。
また、使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。

マルチドライブに関する表示


パソコン本体の電源が入っている場合、マルチドライブが動作しているときは、CD-ROM  LEDが点灯します。

2 CD/DVDのセットと取り出し

CD/DVDは、電源が入っているときにセット/取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- CD-ROM  LEDが点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。




- パソコン本体を持ち運ぶときは、マルチドライブにCD/DVDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

CD / DVD のセット

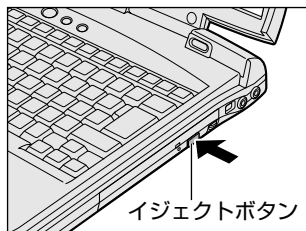
CD / DVD をセットするには、次のように行います。


1 パソコン本体の電源を入れる


パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、モード切替ボタンを押してモードパネルに CD/DVD 再生アイコン () を表示させます。

2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます (数秒かかることがあります)。

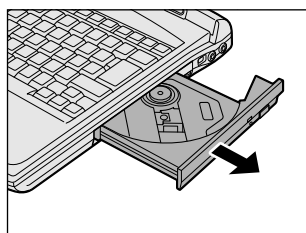


パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、停止ボタン () を押してください。ディスクトレイが少し出てきます (数秒かかることがあります)。

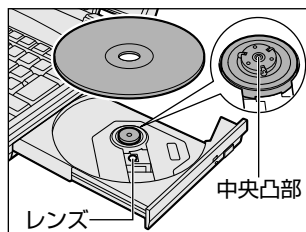
 ● 電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

3 ディスクトレイを引き出す

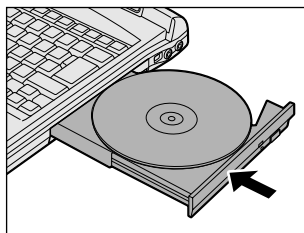
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



4 文字が書いてある面を上にして、CD / DVD の穴の部分ディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットするかチッと音がして、セットされていることを確認してください。



5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す




- CD / DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD / DVD を正しくディスクトレイにセットしないと CD / DVD を傷つけることがあります。




- 傷ついたり汚れのひどい CD / DVD の場合は、挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- CD / DVD の特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

CD / DVD の取り出し

1 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、モード切替ボタンを押してモードパネルに CD/DVD 再生アイコン () を表示させます。

2 イジェクトボタンを押す

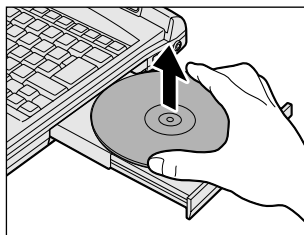
パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、停止ボタン () を押してください。ディスクトレイが少し出てきます (数秒かかることがあります)。

3 ディスクトレイを引き出す

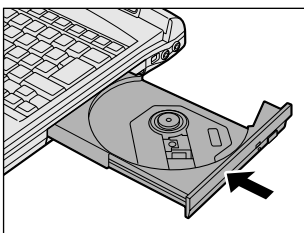
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD / DVD の両端をそっと持ち、
上に持ち上げて取り出す

CD / DVD を取り出しにくいときは、
中央凸部を少し押ししてください。
簡単に取り出せるようになります。

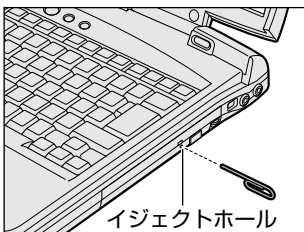


5 「カチッ」と音がするまで、ディ
スクトレイを押し戻す



【ディスクトレイが出てこない場合】

電源を切っているときにイジェクトボタン
を押しても、ディスクトレイは出てきませ
ん。故障などで電源が入らない場合は、ド
ライブのイジェクトホールを、先の細い、
丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばした
もの）で押ししてください。ディスクトレイ
が出てきます。



お願い

- 電源を入れ、マルチドライブのディスクトレイ LED が点滅しなくなっ
たことを確認してから、マルチドライブのイジェクトボタン
を押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディ
スクトレイが出てこない場合があります。

8

スマートメディア

スマートメディア（SmartMedia）をスマートメディアスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

1 スマートメディア

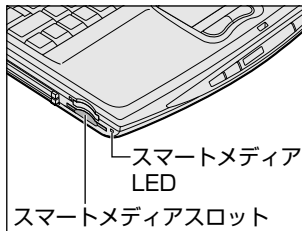
本製品では 3.3V / 5.0V のスマートメディア（RAM）を使用できます。



- SSFDC フォーラムで規定された仕様以外の機器で使用したスマートメディアは使用できません。
- 本製品の後に発売されたスマートメディアを使用した場合の動作を保証することはできません。
- スマートメディアをご使用にならない場合は、専用の静電気防止ケースに入れて保管してください。

スマートメディアスロットに関する表示

スマートメディアとデータをやり取りしているときは、スマートメディア LED が点滅します。



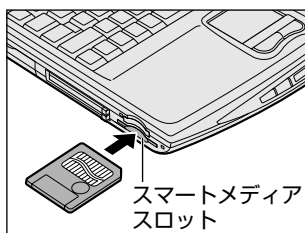
2 スマートメディアのセットと取り出し

⚠ 注意

- ・スマートメディアは必ず正しい手順で取り出してください。書き込み・読み出し中はスマートメディアLEDが点滅します。書き込み・読み出しが終わるまでは電源を切ったり、スマートメディアを取り出したりしないでください。データやスマートメディアが壊れるおそれがあります。
- ・スマートメディアのコネクタ部分には触れないでください。静電気で壊れる場合があります。
- ・スマートメディアは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、スマートメディアのデータが壊れるおそれがあります。

セット

- 1 スマートメディアのコネクタ部分（金色の部分）を上に向け、スマートメディアスロットにゆっくり押し込む



取り出し

- 1 スマートメディアLEDが消灯していることを確認し、スマートメディアの使用を停止する
 - ① [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
 - ② [リムーバブルディスク (D:)] (標準値) を右クリックする
 - ③ 表示されたメニューから [取り出し] をクリックする
- 2 スマートメディアLEDが消灯していることを確認する
- 3 スマートメディアをセットしたときと同じように少し押す
スマートメディアが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

スマートメディアの内容を見る

- 1 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
[マイ コンピュータ] 画面が表示されます。
- 2 [リムーバブルディスク (D:)] (標準値) をクリックする
[リムーバブルディスク (D:)] (標準値) 画面が開き、セットしたスマートメディアの内容が表示されます。

3 スマートメディアを使う前に

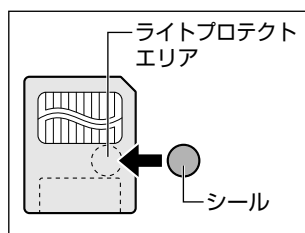
書き込み保護

大切なデータを誤って消去しないように、書き込み保護をセットし、スマートメディアへの書き込み（保存）を禁止できます。

【書き込み保護のセット】

ライトプロテクトエリアに書き込み禁止シールを貼る

この状態のスマートメディアには、データの書き込みはできません。
データの読み取りはできます。



【書き込み保護の解除】

ライトプロテクトエリアの書き込み禁止シールをはがす



- 一度使用してはがした書き込み禁止シールは、再利用しないでください。粘着力がおちてはがれやすくなります。機器内部ではがれると、故障の原因になります。

スマートメディアのフォーマット

フォーマットとは、スマートメディアにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、スマートメディアを使えるようにすることです。

新品のスマートメディアは、スマートメディアの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。

再フォーマットをする場合は、スマートメディアを使用する機器（デジタルカメラなど）でフォーマットを行なってください。

フォーマット方法については『使用する機器に付属の説明書』をご覧ください。

注意

- ・ Windows 上（[マイ コンピュータ] 画面）でスマートメディアのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラなど他の機器で使用できなくなる場合があります。



- 再フォーマットを行うと、そのスマートメディアに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したスマートメディアを再フォーマットする場合は注意してください。

9

SD メモリカード

SD メモリカードをパソコン本体に差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

1 SDメモリカード

本製品では、8 / 16 / 32 / 64 / 128MBのSDメモリカードを使用できます。マルチメディアカードは使用できません。

■ 著作権保護について

SDメモリカードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。



- **SDMI** ● Secure Digital Music Initiative デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体。

■ 著作権について

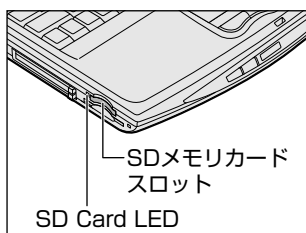
あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ メモリ容量について

SDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMIに準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、ご使用いただけるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

SD メモリカードスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、SD メモリカードとデータをやり取りしているときは、SD Card LED が点灯します。



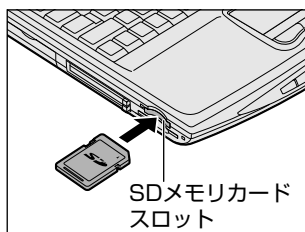
2 SDメモリカードのセットと取り出し

⚠ 注意

- ・ SD Card LED が点灯中は、電源を切ったり、SD メモリカードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやSD メモリカードが壊れるおそれがあります。
- ・ SD メモリカードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SD メモリカードのデータが壊れるおそれがあります。



セット

- 1 SD メモリカードのラベルを貼られた面を上にして、SD メモリカードスロットに挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。



取り出し

1 SDメモ리카ードの使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [TOSHIBA SD Memory Card Drive- ドライブ (F:) を安全に取り外します] (標準値) をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、 [閉じる] ボタン () をクリックする

2 SDメモ리카ードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

SDメモ리카ードの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

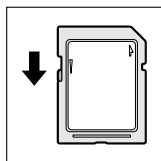
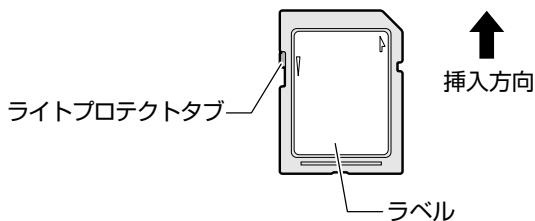
1 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
[マイ コンピュータ] 画面が表示されます。

2 [リムーバブルディスク (F:)] (標準値) をクリックする
[リムーバブルディスク (F:)] (標準値) 画面が開き、セットしたSDメモ리카ードの内容が表示されます。

3 SDメモ리카ードを使う前に

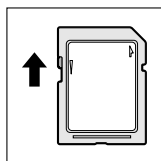
ライトプロテクトタブ

SDメモ리카ードは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを挿入とは反対の方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを挿入と同じ方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みも読み取りもできます。

SD メモリカードのフォーマット

フォーマットとは、SD メモリカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、SD メモリカードを使えるようにすることです。

新品のSD メモリカードは、SD メモリカードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。

再フォーマットをする場合は、「Audio Manager」などのSD メモリカード用のフォーマットができるアプリケーション上で行なってください。または、SD メモリカードを使用する機器（デジタルカメラなど）をお持ちの場合は、使用する機器でフォーマットしてください。フォーマット方法については、『アプリケーションや使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』をご覧ください。

注意

- ・ Windows 上（[マイ コンピュータ] 画面）で SD メモリカードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラなど他の機器で使用できなくなる場合があります。



- 再フォーマットを行うと、そのSD メモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。1 度使用したSD メモリカードを再フォーマットする場合は注意してください。

10

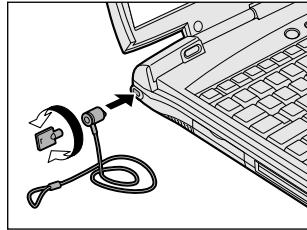
セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。



- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを販売店にご確認ください。

- 1 セキュリティロック・スロットにセキュリティロック用の機器（別売り）を接続する



8章 パソコンの取り扱い

- 1 日常の取り扱いとお手入れ 242
- 2 アフターケアについて 249
- 3 廃棄について 250

1

日常の取り扱いとお手入れ

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

電源コード

電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を堅くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を切り、AC アダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

液晶ディスプレイ

■ 画面のお手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。
水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

■ サイドライト用 FL 管について

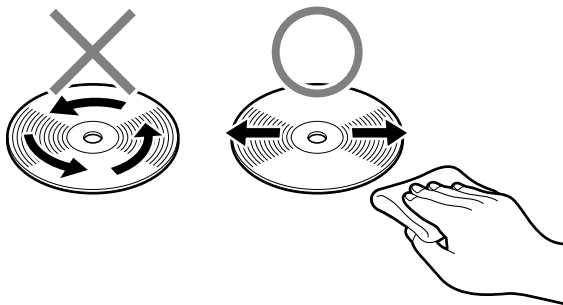
液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用 FL 管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

CD / DVD

CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

スマートメディア

スマートメディアを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- スマートメディアに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
スマートメディアに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- スマートメディアのコネクタ部分を触らないでください。
静電気の影響を受けて、記録した内容が消えるおそれがあります。
また、ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、スマートメディアに付属のケースに入れてください。
- スマートメディアが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。

SD メモリカード

SD メモリカードを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- SD メモリカードに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
SD メモリカードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD メモリカードの接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。
ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。

- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、SD メモリカードに付属のケースに入れてください。
- SD メモリカードが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってから拭きます。

データのバックアップについて


重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクや CD-R、CD-RW などにコピーしておくことです。本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、Disk  LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CD / DVDがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。

国外で製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

■ ACアダプタの仕様

入力	AC100V～240V、1.2A～0.6A、50/60Hz
出力	15V、5A

2

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへのご相談は、『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。

保守・修理に出す前に、ご自分で作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールアドレス帳（連絡先）
- インターネットの履歴
- インターネットのお気に入り

操作方法については、『困ったときは』をご覧ください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック PABAS015 と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

3

廃棄について

バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



Li-ion

■ バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会
TEL / 03-3434-0261
ホームページ / <http://www.baj.or.jp>

パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

■ パソコン内のデータ消去について

パソコン内のデータは、「削除」や「フォーマット」を行なっただけでは、特殊なソフトウェアなどの使用により、消したはずのデータが再生されることがあります。

パソコンの廃棄の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には専門業者に依頼もしくは市販のソフトウェアなどをお使いになることをおすすめいたします（有償）。

本件に関するお問い合わせは、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）にご連絡ください。

東芝 PC ダイヤル
TEL / 0570-00-3100
受付時間 / 9 : 00 ~ 19 : 00（祝日、12 / 31 ~ 1 / 3 を除く）

■ お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

パソコンお客様ご登録係

TEL / 043-278-5997

受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日、祝日、特別休日を除く)

付録

1	ローマ字入力一覧表	254
---	-----------------	-----

1

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
わ	わ				を
	wa				wo
ん	ん				
	n* nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	di	du	de	do
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po

※ : nに続けて子音 (k、s、t、nなど) が入力されると「ん」になります。

あ	い	う	え	お
xa	xi	xu	xe	xo
la	li	lu	le	lo
きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
sha	syi	shu	she	sho
syu		syu	syu	syo
		っ*1		
		xtu		
		ltu		
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
cha		chu	che	cho
tya	tyi	tyu	tye	tyo
cya	cyi	cyu	cye	cyo
てや	てい	てゅ	てえ	てよ
tha	thi	thu	the	tho
にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
ふぁ	ふい		ふえ	ふお
fa	fi		fe	fo
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
mya	myi	myu	mye	myo
ゃ		ゅ		よ
xya		xyu		xyo
lya		lyu		lyo
りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
rya	ryi	ryu	rye	ryo
	ゐ*2		ゑ*2	
	wi		we	
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
ja	ji	ju	je	jo
zya	zyi	zyu	zye	zyo
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴぁ*3	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴお
va	vi	vu	ve	vo
ヴゃ*3	ヴい	ヴゅ	ヴえ	ヴよ
vya	vyi	vyu	vye	vyo

※ 1 : 通常は後ろの子音を2つ続けて入力します。【例】「いった」→ itta

※ 2 : キーボードで入力した後、変換してください。

※ 3 : 「ヴ」にひらがなはありません。カタカナに変換する必要があります。

さくいん

(A)

ACアダプタの仕様 248
Alt キー 74, 75
Arrow Mode LED 75

(B)

BackSpace キー 75
Battery LED 201
BCC 165, 181

(C)

Caps Lock LED 74
Caps Lock 英数キー 74
CC 165, 181
CD 15, 226
CD / DVD 再生アイコン 203
CD / DVD 再生モード 207
CD-R 15
CD-ROM 15
CD-ROM LED 201, 227
CD-RW 15
CD エクストラ 15
CD のセット 228
CD の取り扱い 244
CD の取り出し 229
CPU 12
CRT ディスプレイ 18
Ctrl キー 74, 75

(D)

DC IN LED 24, 201
Del キー 75
Disk LED 201, 218

DVD 16, 226
DVD-ROM 16
DVD-Video 16
DVD のセット 228
DVD の取り扱い 244
DVD の取り出し 229

(E)

Enter キー 75
Esc キー 74
E メール 134

(F)

Fn キー 74

(H)

HTML 形式 138

(I)

i.LINK コネクタ 199
IEEE1394 コネクタ 199
IME ツールバー 41
IME パッド 94
Ins キー 75
Internet Explorer 104
Internet Explorer 画面 106

(L)

LAN コネクタ 199
LED 25
LINE IN 端子 199
LINE OUT 端子 199

(M)

- Microsoft Outlook..... 136
- Microsoft Outlook 画面 142
- Microsoft Outlook のツールバー
..... 144
- Microsoft Outlook のヘルプの
起動方法 174
- Microsoft Outlook を終了する
..... 175
- MS-IME のオンラインヘルプ 98

(N)

- Numeric Mode LED 75

(O)

- OS 20
- Outlook バー 145
- Outlook バーにショートカット
アイコンを追加する 146
- Outlook バーにフォルダを作成する
..... 158

(P)

- Pause キー 75
- PC カードスロット 200
- PostPet 176
- PostPet のヘルプの起動方法
..... 178
- Power LED 24, 201
- PrtSc キー 75

(R)

- RGB コネクタ 200

(S)

- SD Card LED 236
- SD メモリカード 16, 235
- SD メモリカードスロット
..... 196, 236
- SD メモリカードのセット 236
- SD メモリカードの取り扱い 246
- SD メモリカードの取り出し 237
- SD メモリカードの
内容を見る 237
- SD メモリカードのフォーマット
..... 239
- Shift キー 74, 75
- SmartMedia 231
- Space キー 74

(T)

- Tab キー 74
- TFT 方式カラー液晶ディスプレイ
..... 217
- TO 181

(U)

- USB コネクタ 199, 200

(W)

- Win キー 74

(ア)

アイコン	40
アドレス	110
アドレス帳	161
アドレス帳を修正する	164
アドレス帳を使って 宛先を入力する	165
アドレスバー	107
アドレスを登録する	161, 163
アプリケーション	21
アプリケーションキー	75
アプリケーション起動アイコン	203
アプリケーションモード	207
アプリケーションを起動する	71
アプリケーションを終了する	72

(イ)

イジェクトホール	230
以前に表示したホームページを 表示する	127
インターネット	40
インターネットボタン	104, 197, 205
インターネットメール	134

(ウ)

ウィンドウ	42
ウィンドウの大きさを変える	44
ウィンドウの説明	42
ウィンドウを移動する	45

ウィンドウを最小化する	50
ウィンドウを最大化する	48
ウィンドウを閉じる	52
ウィンドウを開く	42

(エ)

英数字を入力する	89
液晶ディスプレイ	18
液晶ディスプレイの取り扱い	243

(オ)

オーディオ／アプリケーション ボタン	197, 206
オーディオ／アプリケーション ボタンロック機能	208
オーディオ／アプリケーションボタン ロック機能アイコン	203
オーディオデジタル再生アイコン	203
オーディオデジタル再生モード	207
オーバーレイキー	75
お気に入り	110
[お気に入り] からホームページを 表示する	113
[お気に入り] に登録する	110
[お気に入り] を整理する	114
オペレーティングシステム	20
音楽CD	15
音楽の録音レベルを調整する	223
音声の録音レベルを調整する	223
音量を調整する	220

(カ)

顔文字	181
書き込み保護	233
確定	84
カタカナ／ひらがなキー	75
カタカナを入力する	86
かな入力	80
かな入力に設定を変更する場合 ...	80
画面のお手入れ	243
漢字を入力する	85

(キ)

キーボード	17, 74, 196
キーボードの取り扱い	243
記号を入力する	87
起動したときに表示する ホームページを変更する ...	116

(ク)

クリックする (左ボタン)	30
クリックする (マウス)	35
クロック周波数	12

(コ)

ごみ箱	40, 61
ごみ箱に入れたファイルを 元に戻す	65
コントロールパネル	67
[コントロールパネル] 画面	69
コントロールパネルの閉じかた ...	70
コントロールパネルの開きかた ...	67
コンパクトフラッシュ	16

(サ)

再起動	28
最小化	50
[最小化] ボタン	43
最大化	48
[最大化] ボタン	43
サイドライト用 FL 管について	243
サブウーハー	198

(シ)

システムインジケータ	24, 197, 201
終了オプション	41
受信メールを見る	151
消耗品	249
署名を入れる	172
新着メール数をモードパネルに 表示する	189
新着メールチェック機能を 開始する	184
新着メールチェック機能を 使用できる状態	183
新着メールチェックのスケジュール を設定する	186
新着メールチェックの設定をする	183
新着メールチェックの接続環境を 設定する	187
新着メールチェックを停止する	194
新着メールを確認する	193

(ス)

スクロール	46
スクロールする	46
スクロールする (マウス)	37
スクロールバー	43
スタートページ	116
スタートページに戻る	117
[スタート] ボタン	40
[スタート] メニュー	40
スピーカ	196
スマートメディア	16, 231
スマートメディア LED	231
スマートメディアスロット	196, 231
スマートメディアのセット	232
スマートメディアの取り扱い	246
スマートメディアの取り出し	232
スマートメディアの内容を見る	233
スマートメディアのフォーマット	234

(セ)

赤外線ポート	196
セキュリティロック	240
セキュリティロック・スロット	196, 240
全角	79

(ソ)

操作メニュー	42
増設メモリスロット	200
ソフトウェア	10, 19

(タ)

タイトルバー	42
ダウンロードする	130
タスクバー	41
タッチパッド	17, 29, 196
タッチパッドの取り扱い	247
タブ	82
ダブルクリックする (左ボタン)	31
ダブルクリックする (マウス)	36

(チ)

直接入力	87
------	----

(ツ)

ツールバー	42
通知領域	41
通風孔	198

(テ)

データのバックアップ	247
ディスクトレイ LED	227
ディスプレイ	196
ディスプレイ開閉ラッチ	196
テキスト形式	138
デスクトップ	40
電源コードの取り扱い	243
電源コネクタ	198
電源スイッチ	25, 196
電源に関する表示	24
電源を入れる (2回目以降)	24

電源を切る	26
電子メール	40, 134
添付されたファイルを開く	170

(ト)

東芝コントロール	209
東芝ネットメニュー	129
[閉じる] ボタン	43
ドラッグアンドドロップする (タッチパッド)	32
ドラッグアンドドロップする (マウス)	37

(ニ)

日本語入力システム MS-IME	79
入力に関する制御キー	90

(ハ)

ハードウェア	10, 11
ハードディスク	14
ハードディスクドライブ	218
ハードディスクドライブに 関する表示	218
廃棄	250
パソコン本体の取り扱い	242
パソコンを起動せずに新着メール チェックをする	192
バッテリー残量アイコン	203
バッテリーパック	198
半角	79
半角英数	87
半/全キー	74

(ヒ)

光デジタルオーディオ出力端子	199
左ボタン	29, 196
ビデオ出力端子	199
ひらがなを入力する	84

(フ)

ファイル	53
ファイルの名前を変更する	57
ファイルをコピーする	59
ファイルを削除する	61
ファイルを作る	55
ファンクションキー	74
フォトCD	15
フォルダ	53
フォルダの名前を変更する	57
フォルダをコピーする	59
フォルダを削除する	61
フォルダを作る	54
フラッシュメモ리카ード	16
フロッピーディスク	15
フロッピーディスクドライブの 取り扱い	244
フロッピーディスクの取り扱い	245
文書を保存する	99

(ヘ)

ヘッドホン出力端子	199
変換キー	75
変換の区切りを変える	92

(ホ)

ホームページの画像を壁紙に 設定する	123
ホームページの画像を保存する	121
ホームページを検索する	108
ホームページを保存する	118
ポインタ	29
ポインタを動かす (タッチパッド)	30
ポインタを動かす (マウス)	35
補修用性能部品	249
保守サービス	249
ボリュームコントロール	222
ボリュームダイヤル	198, 220

(マ)

マイ コンピュータ	41
マイ ドキュメント	41
マイ ピクチャ	41
マイ ミュージック	41
マイク入力端子	199
マウス	17, 33
マウスの持ちかた	34
マルチドライブ	198, 225
マルチドライブに関する表示	227

(ミ)

右クリックする (マウス)	36
右クリックする (右ボタン)	31
右ボタン	29, 196

(ム)

無変換キー	74
-------------	----

(メ)

メール	134
メールサーバ	135
メール着信情報を消す	193
メールにファイルを添付する	168
メールボタン	136, 197, 205
メールを検索する	167
メールを削除する	156
メールを作成する	147
メールを受信する	150
メールを送信する	150
メールを転送する	155
メールを分類する	159
メールを返信する	153
メニューバー	42
メモ帳を開く	77
メモリ	13

(モ)

モード切替ボタン	197, 206
モードパネル	182, 197, 202
モードパネルに表示されるアイコン	203
モードパネルに表示される文字列	204
モードパネルの点灯	203
文字キー	76
文字化け	138
モジュラージャック	198

文字を削除する	91
持ち運ぶとき	248
[元に戻す (縮小)] ボタン	43

(ヤ)

矢印キー	75
------------	----

(ヨ)

よく見るホームページを登録する	110
読みかたがわからない文字を 入力する	94

(ラ)

ライトプロテクトエリア	233
ライトプロテクトタブ (SDメモ리카ード)	238

(リ)

履歴の検索	127
-------------	-----

(ロ)

ローマ字キー	75
ローマ字入力	80
ローマ字入力一覧表	254

